

THE JCM MONTHLY REPORT 2007 JULY Vol.16 No.4

JCM

MONTHLY REPORT

JCMマンズリーレポート

特集 ユニットプライス型積算方式

JCMセミナー(継続学習認定講習)

全国主要都市で8月より開催

ユニットプライス型積算方式の試行について

(国土交通省・農林水産省)

コンクリートのはなし⑩

平成19年度 事業計画・予算書

表彰事業・技術論文表彰

土木施工管理技士に関するアンケート結果

(現場土木技術者の声)

第12回 土木施工管理 技術論文・技術報告募集開始

平成19年度現場の失敗募集開始

2007
7



土木施工管理技士会倫理綱領

会員は、国家資格者として誇りと品格を保ち、常に自己の資質と技術の向上に努め、社会に貢献すること。

(誇りを持つよう)

1. 土木技術の国家資格者として誇りを持って行動し、日頃から技術の研鑽^{けんさん}に励むこと。

(技術力を活かそう)

2. 技術者として自己の専門的知識及び経験をもって良質な物を作ること。

(公正な行動をしよう)

3. 携わる事業の性質から、公正・清廉^{たつと}を尚び、広く模範となる行動をすること。

(ボランティアに参加する等、社会に貢献しよう)

4. 技術者として知識・経験を活かし、災害時等はもちろん、普段の生活においても、地域活動や社会奉仕に積極的に参加するよう努めること。

会誌編集委員会

(敬称略 平成19年6月現在)

委 員

委員長	野田 毅	国土交通省大臣官房建設システム管理企画室長	森田 宏	国土交通省大臣官房技術調査課長補佐
委員	山口 勝	埼玉県土木施工管理技士会 〔(社)埼玉県建設業協会 技術部長〕	中山 義章	国土交通省総合政策局建設業課長補佐
	諏訪 博己	東京土木施工管理技士会 〔前田建設工業㈱ 東京支店砂町(作)所長〕	吉田 大	国土交通省河川局治水課河川保全企画室課長補佐
	福井 敏治	(社)日本土木工業協会 〔鹿島建設㈱土木管理本部土木工務部担当部長〕	富山 英範	国土交通省道路局国道・防災課長補佐
	佐藤 恭二	(社)全国建設業協会 〔飛鳥建設㈱土木事業本部事業統括部土木事業企画G部長〕	剣持 貴	国土交通省関東地方整備局企画部技術調整管理官
	和田 千弘	(社)日本道路建設業協会 〔(株)NIPPOコーポレーション工務部工事課長〕	幸田 勇二	国土交通省港湾局技術企画課課長補佐
			金光 讓二	農林水産省農村振興局整備部設計課 施工企画調整室課長補佐
			芳司 俊郎	厚生労働省労働基準局安全衛生部安全課 建設安全対策室室長補佐

特集 ユニットプライス型積算方式

表紙：写真は、アフガニスタンのベシャワールで水を求めて多くの
人々の手で水路を築造している様子。9月号では、さらにグ
ラビアで紹介予定。

(写真提供：ベシャワール会)

■新しい制度

ユニットプライス型積算方式の試行について

国土交通省 大臣官房技術調査課事業評価調査官 森本 輝2

農林水産省におけるユニットプライス型積算方式の試行状況について

農林水産省農林振興局 整備部設計課施工企画調整室5

■連載特集 コンクリートのはなし⑩

ジャンカを防ぐコンクリートの打ち方

(株)大林組技術研究所副所長 十河 茂幸7

■現場の失敗とその反省

X-3 基礎掘削での失敗9

■連合会だより

平成19年度事業計画・予算書10

表彰事業（表彰者名簿）11

技術論文表彰（第11回土木施工管理技術論文・技術報告入賞者）13

平成18年度土木施工管理技士に関するアンケート結果（現場技術者の声）14

■各種募集

平成19年度JCMセミナーのご案内・申込要領16

第12回土木施工管理技術論文・技術報告募集18

平成19年度現場の失敗募集20

■図書案内

良いコンクリートを打つための要点・第11回土木施工管理技術論文集21

■市場動向

施工単価の動向／(財)建設物価調査会22

建設資材の価格動向／(財)経済調査会23

■広告

現場技術土木施工管理技士会・(財)経済調査会・(財)建設物価調査会

(社)建設コンサルタンツ協会・(財)地域開発研究所24

ユニットプライス型積算方式の試行について

国土交通省 大臣官房技術調査課
事業評価調査官 森本 輝

1. はじめに

国土交通省では、公共工事の予定価格算定に用いている現行の「積み上げ方式」から歩掛を用いない「ユニットプライス型積算方式」への転換に向けて、平成16年度から直轄の新設の「舗装工事」を対象に試行を実施し、H16年度は各地整1件を目安に試行を開始、H17年度は制度の浸透とユニットプライス型積算方式の習熟の観点から、各事務所1件を目安に試行を実施、H18年度からは全工事で試行実施（全面試行）しています。（試行件数H16年度：8件、H17年度：40件、H18年度：277件）

また、道路改良工、築堤・護岸工につい

ては、当面各地整1件を目安にH17年度末より試行を開始、H19年度からは全工事で試行実施しています。（試行件数H17年度：道路改良2件、築堤・護岸4件、H18年度：道路改良9件、築堤・護岸9件）

この度、実施した試行工事について受・発注者にアンケートを実施し、その結果をとりまとめましたので報告致します。

2. ユニットプライス型積算方式の概要

ユニットプライス型積算方式は、現在取り組んでいる、『コスト構造改革』の取り組みの一つである『「積み上げ方式」から歩掛を用いない「施工単価方式」への積算体

ユニットプライス型積算方式の概要 ①

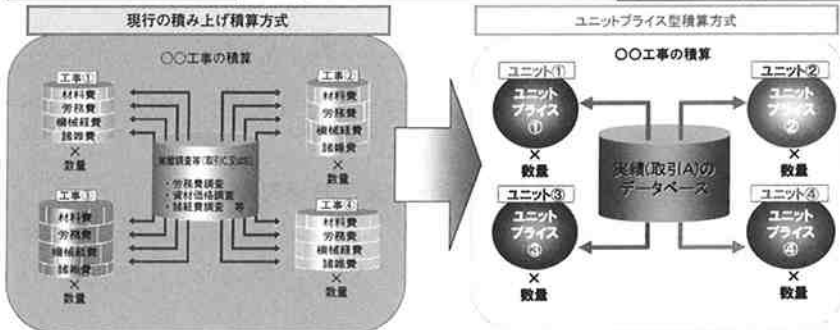
1. 導入の背景

●公共調達改革、良質な社会資本を適正な価格で整備するために、発注者と受注者がそれぞれの責務を十分に果たすことのできる仕組みを構築しようとするもので、入札契約における技術力競争の推進、監督検査の重点化に併せて積算の市場性・的確性の向上のために導入する。

2. 概 要

●受注者（元請企業）と発注者がユニット毎に合意した価格を、発注者がデータベース化し、ユニット毎に実績のデータベースを基にした単価（ユニットプライス）を用いて工事予定価格の積算を行う。

●現行の積み上げ積算方式は、資材価格調査のようにB/Cを採り込んでいる
●ユニットプライス型積算方式では、契約の当事者であるB/Aを採り込める



系の転換に向けた取り組み』であります。

また、現行の積み上げ積算方式に対し、ユニットプライス型積算方式は、6つの効果が期待できます。

1. 価格の透明性、説明性の向上

発注者と受注者（元請企業）の取引価格をベースに、発注者が直接、施工単価（ユニットプライス）を調査

2. 民間活力（創意工夫）の導入促進

想定した施工のプロセスを示さないため、受注者の技術力の活用や新工法の採用といった創意工夫の意欲が向上

3. 契約上の協議が円滑化

総価契約単価合意をするため、施工量が増減した場合に、自ずと契約変更額が決定されるなど契約変更手続きが円滑。あらかじめ定められているユニットの条件を明示しているため、条件が変わった場合に変更協議が円滑。

4. 工事目的物と価格の明確化

工種毎に直接工事費と間接工事費が一

緒になっているため、工事目的物と価格との関係が明確。

5. 積算の効率化

多大な労力を要している精緻な積算を効率化。

6. 単価合意で下請契約が透明化

合意単価が公開されることにより、元下間の契約額の透明化及び適正化が期待。

3. 試行工事のフォローアップ結果

3-1. フォローアップ結果①【当初段階】 【対象工事】

「ユニットプライス型積算方式」による試行工事として発注した126件（内訳：舗装114件、築堤・護岸9件、道路改良3件）について、当初の単価協議・合意までのフォローアップ調査として、発注者、請負者にアンケートを実施し、以下の結果をとりまとめた。

発注者へのアンケート結果	請負者へのアンケート結果
<p>I. 試行について</p> <p>◆「ユニットプライス型積算方式」の試行にあたり、「試行実施要領」について「不足はない」との結果であった。</p> <p>II. 当初積算について</p> <p>◆プライスの設定がされている場合、単価表が不要で、入力条件数や照査項目も減ることから積算時間は短縮し効率化が図られたとの結果であった。</p> <p>◆規定集に記載のない工種は、特記仕様書へ費用内訳の記載が必要のため、手間がかかるとの意見があった。（対策：H18より舗装、H19より築堤護岸、道路改良の全工種を規定集に記載した）</p> <p>III. 当初単価協議・合意について</p> <p>◆単価協議については、初めてのため協議ルールの確認や関係者のスケジュール調整に手間がかかったとの意見から、約80%が負担に感じていた。</p> <p>◆単価協議・合意を通じて、約90%の発注者が「問題ない」としており、合意単価についても、「満足している」との結果であった。</p>	<p>I. 試行について</p> <p>◆「ユニットプライス型積算方式」による試行工事であることは認知されており、本方式の具体的な内容についても理解されていた。</p> <p>II. 当初積算（見積り）について</p> <p>◆単価の算定にあたって、本方式に不慣れで規定集等を確認しながら作業を行ったことなどから、従来方式と比べ半数が手間がかかったと回答。（今後、本方式に習熟すれば問題ないと考えられる。）</p> <p>III. 当初単価協議・合意について</p> <p>◆単価協議については、慣れていないため、協議資料の作成等で時間を要し、約40%の請負者が負担に感じているが、単価協議・合意を通じて、甲乙間の金額差（考えに差）がある場合、摺り合わせが出来るため、80%以上が「満足している」との結果であった。</p>

3-2. フォローアップ結果②【最終段階】 【対象工事】

「ユニットプライス型積算方式」による試行工事として発注した舗装工事44件について、契約変更から工事完成までのフォローアップ調査として、発注者、請負者にアンケートを実施し、以下の結果をとりまとめた。

4. おわりに

ユニットプライス型積算方式に関する技術情報は、国土交通省国土技術政策総合研究所ホームページに掲載されており、下記URLから参照できます。

<http://www.nilim.go.jp/lab/pbg/index.htm>

発注者へのアンケート結果

I. 契約変更において

- ◆施工量が増減した場合、合意単価を用いて契約変更額が決定されるため、積算(見積)や変更協議がスムーズになった。
- ◆ユニットプライス規定集に記載のある工種については、条件明示は改善された。
- ◆規定集に記載のない工種は、特記仕様書へ費用内訳を記載するため、作業量が増加した。
(対策:H18より舗装、H19より築堤護岸、道路改良の全工種を規定集に記載した)

II. 全体を通じて

- ◆ユニットプライス規定集により、条件明示の徹底についてはやや向上したとの意見。
- ◆単価協議・合意により、受発注者間の考え方のすり合わせができ、契約変更時の数量増減部分では、金額算定・決定が円滑化した。
- ◆単価合意により、工事費が明確化されコスト管理が容易となったとの意見。

請負者へのアンケート結果

I. 契約変更において

- ◆施工量が増減した場合、合意単価を用いて契約変更額が決定されるため、積算(見積)や変更協議がスムーズになった。
- ◆ユニットプライス規定集に記載のある工種については、条件明示は改善された。

II. 全体を通じて

- ◆ユニットプライス規定集により、条件明示の徹底についてはやや向上したとの意見。
- ◆単価協議・合意により、受発注者間の考え方のすり合わせができ、契約変更時の数量増減部分では、金額算定・決定が円滑化した。
- ◆新規工種が追加が発生した際、中間変更できなくとも、仮の単価協議合意できるとありがたいとの意見。
- ◆単価合意により、工事費が明確化されコスト管理が容易となったとの意見。
- ◆企業努力(施工の合理化、新技術・新工法の導入等)の意欲は、現行方式に比べやや増すと思われるとの意見。

発注者へのアンケート結果

Q ユニットプライス規定集により、従来と比べて条件明示が向上されたと思いますか。

回答	割合
変わらない	11%
やや低下	7%
かなり向上	5%
やや向上	34%
今後改善が期待される	43%

<主な意見>
○各ユニットの費用内訳を規定集で規定するため、条件明示は向上したと思う。

Q 単価合意しておくことで、数量の増減などの契約変更があった場合、変更金額の算定・決定が円滑に行えるようになりましたか。

回答	割合
変わらない	7%
今後円滑になると思う	25%
円滑	68%

<主な意見>
○数量増減の変更が主な工事では、合意単価を用いるため契約変更が円滑。

請負者へのアンケート結果

Q ユニットプライス規定集により、従来と比べて条件明示が向上されたと思いますか。

回答	割合
変わらない	7%
やや低下	9%
かなり向上	5%
やや向上	45%
今後改善が期待される	34%

<主な意見>
○各ユニットの費用内訳が規定集及び特記仕様書に記載されており、条件明示は向上したと思う。

Q 本方式で企業努力(新技術の導入、施工の合理化などの創意工夫)を図る意欲が増すと考えますか。

回答	割合
変わらない	20%
今後意欲増すとと思う	36%
意欲増す	44%

<主な意見>
○施工プロセスが示されないため、自社の得意工法で施工するなど創意工夫を図る意欲が増した。

農林水産省におけるユニットプライス型積算方式の試行状況について

農林水産省農村振興局整備部設計課
施工企画調整室

1. はじめに

農林水産省農村振興局では、平成15年度から「農業農村整備事業等コスト構造改革プログラム」を策定し、直轄事業において、調査・計画段階から管理に至るすべてのプロセスを見直すコスト構造改革を、積極的に推進しております。本プログラムの主要な施策の一つである「積算の見直し」については、これまでの歩掛を用いた「積み上げ方式」から、歩掛を用いない「施工単価方式」への積算体系の転換に向けたユニットプライス型積算の試行に向け、管水路工事を対象に、単価収集・調査及び施工単価（ユニット単価）等の分析・検討を進めています。そして、平成18年度より管径500mm以下の小口径の工事を対象として、試行工事を開始したところです。

本稿では、試行工事の状況、今後の進め

方等について紹介します。

2. ユニットプライス型積算方式による効果と流れ

ユニットプライス型積算方式の導入による効果は、以下の効果があり、受注者と発注者の両方にメリットが期待されます。

- ①価格の透明性、説明性の向上
- ②民間活力（創意工夫）の導入促進
- ③契約上の協議が円滑化
- ④工事目的物と価格の明確化
- ⑤積算業務の効率化

また、ユニットプライス型積算方式の概略の流れは、下図のとおりであり、総価で契約後、工事を工種（ユニット区分）単位に分け、発注者と受注者の間で、各ユニット（施工単価）区分ごとに単価を合意する総価契約単価合意方式となります。

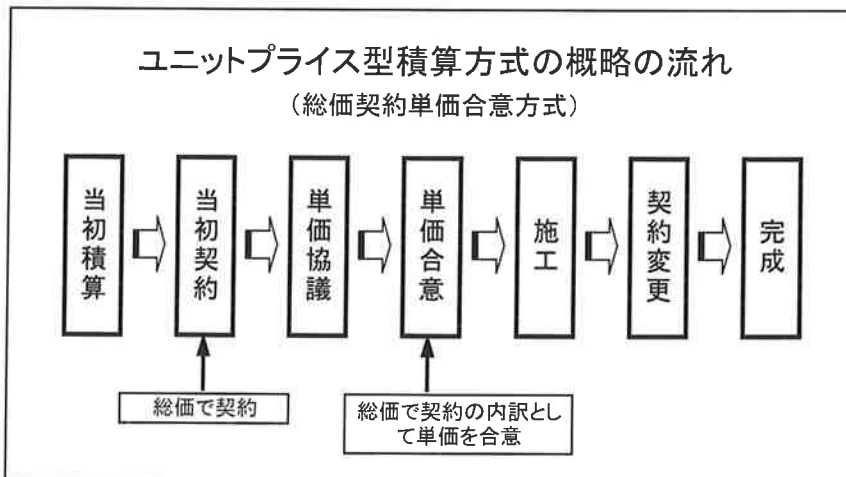


図1 ユニットプライス型積算方式の概略の流れ

3. 試行工事の実施状況

(1) 試行工事の概要

ユニットプライス型積算方式による試行工事は、農業農村整備事業において実施している工種のうち、最も施工実績の多い工種である「管水路工事」を対象としています。試行工事は、平成18年8月から平成19年3月末までに発注した「管水路工事」のうち、管径500mm以下の小口径の工事の中から6件を抽出して実施しました。

【試行工事の概要】

- 工事件数 6件
- 工事価格帯 平均4,000万円（3,000～5,000万円）
- 主な管種 塩化ビニール管、強化プラスチック複合管、ダクタイル鋳鉄管

(2) 試行結果の概要

試行工事を実施した6件のうち、条件を満足する5工事について、官側積算金額との比較を実施した結果、下記のとおり的事项が考察されます。

表1 試行工事の結果 官側積算金額と合意金額の比率

区 分	割合 (合意金額/官側金額)	備 考
工事原価	97.1%	
直接工事費ユニット	96.8%	
間接工事費ユニット	104.5%	
一般管理費等	89.9%	
工事価格	96.2%	

*5工事分を集計

- 工事価格の官側積算金額と合意金額の比は、96.2%であり、積算方式の変更に伴う落札率への影響は見られませんでした。
- 工事原価の、官側積算金額と合意金額の比は、97.1%となっており、工事価格に占める割合が10%程度の一般管理費等の削減による落札差分を創出している傾

向は、見られませんでした。

4. 今後の試行予定について

平成19年度は、積算価格の透明性・説明性の向上や、積算業務の省力化をより実現するため、ユニットプライス型積算方式の導入工種の拡大に努めていくこととしています。試行工事については、平成18年度の試行結果を踏まえ、小口径に限定していた適用範囲を「大口径の管水路工事」へ拡大することで作業を進めています。また、「開水路工事」や「河川及び排水路工事」の試行に向けた検討も併せて行っています。

5. おわりに

これまでの積み上げ積算では、広く使用される工法を標準的な施工が行われた場合の労務、材料、機械等の規格や所要量を各々の工種ごとに設定したものです。一方、ユニットプライス型積算方式は、工事の実績に基づく単価を用いて、単価協議を行い、合意した単価に基づき実施されるものであり、より実勢に近づいた積算体系であると考えております。

また、ユニットプライス型積算方式の導入により積算作業が効率化されますので、品質確保等の取り組みに向けた業務へ、比重を置けるようになると考えております。

このことから、農林水産省としてユニットプライス型積算方式の試行について、試行実施件数の拡大及び新規工種の導入検討をはかり、より充実した積算方法となるよう進めていきたいと考えております。

コンクリートのはなし ⑩

ジャンカを防ぐコンクリートの打ち方

(株)大林組技術研究所
副所長 十河 茂幸

型枠を外したら、きれいなコンクリートの打ち放し面が表れると思いきや、豆板状のコンクリート面でがっかりすることがあります。表面に骨材が集まった「豆板」、内部が詰まっていない「空洞」、表面に空洞が見られる「巣」など、これらを総称してジャンカと呼びます。ジャンカはみにくい状態を意味し、広義にはあばたなども含むとされますが、よく見られる豆板をジャンカの同意語として用いられることが多いようです。今回は、できてしまうと施工者の技量を疑われ、技術評価を大幅に下げってしまうジャンカのできるメカニズムとその対策を概説します。

■材料分離（粗骨材分離）のメカニズム

コンクリートは、材料を適切に選定し、施工性能に優れて硬化後の品質が確保されるように配合設計が行われると、通常は型枠の中にスムーズに打ち込まれ、しっかりと締め固めをしておけば耐久性のある構造物を造ることができます。しかし、コンク

リートを打ち込みやすくすることは、流動性を高めることになり、その流動性に応じて材料分離抵抗性（つまり、コンクリートの粘性）を高めなければ、材料分離（粗骨材がモルタル部分から離れる現象）を生じます。材料分離抵抗性を高めても、流動させれば骨材は沈み、流動しやすいモルタルは流れて分離します。水平方向に移動させる距離が長くなるほど分離します。また、バイブレータで振動を長く与えても骨材が沈み、上下で材料分離が生じます。

材料分離をすると、モルタルの多い箇所ではひび割れが生じやすくなるものの、豆板はできません。豆板ができるのは、骨材が集まるような打ち込みが主原因です。たとえば、長い斜めシュートでコンクリートを打ち込むと、粗骨材は転がって遠い方に骨材が集まり、モルタルは粘性が高いためシュート面に沿ってゆっくり流れ、シュート下で分離をしてしまいます（図1）。

配筋された型枠内に斜めシュートを用いて打ち込む場合に、この分離を見逃すと、

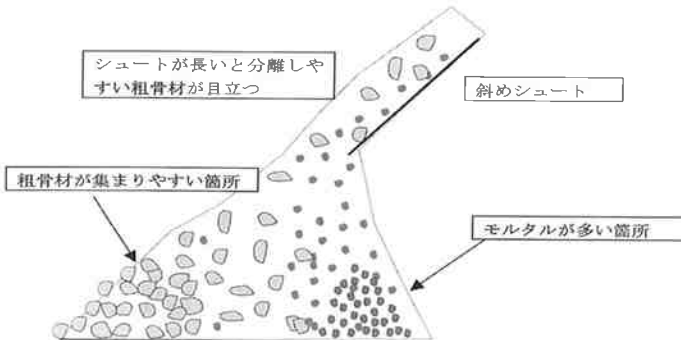


図1 斜めシュートにおける粗骨材分離のメカニズム
(コンクリートの施工のコツがわかる本より)

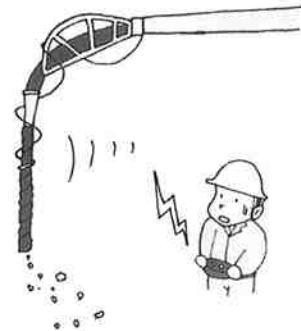


図2 吊り下げたホースからの骨材の落下
(コンクリートの施工のコツがわかる本より)

部分的に粗骨材が集まって豆板ができることとなります。また、ポンプ圧送による打込みは、材料分離が少なくできる打込み方法と見なされていますが、打ち始めの時点や段取り替えの際に、配管内のコンクリートが落下することになり、骨材が先に走って豆板を造ることがあります（図2）。

■ジャンカ（豆板）のできる要因と対策

ジャンカができる要因にはいくつかのパターンがあり、①流動性が不足して未充てんになる場合、②打込み速度が速く締めめが不十分になる場合、③粗骨材が一部に集まる場合（この場合は振動を掛けてもモルタルは隙間を充てんしない）、④モルタルが型枠の隙間から抜け出して骨材だけが残される場合などがあります。いずれも材料分離による影響です。

配筋状態や型枠の形状に応じた施工性能をもつコンクリートであれば、①や②の原因のジャンカはできないし、型枠を精度よく組み立てていれば④はあり得ません。しかし、③の原因は案外と見逃されやすく、コンクリートポンプを用いた施工であるにもかかわらず、ジャンカが生じてしまうことがあります。

順調に圧送されている段階では筒先のフレキシブルホースを水平にして打ち込むため、筒先からの落下高さは自ずと小さく、問題になるほどの材料分離は生じません。ところが、型枠内のコンクリートをバラン

スよく打ち上げていくためには、筒先を移動する必要が生じます。このとき、フレキシブルホース内のコンクリートは一旦吐き出し、ブームを他の場所に移動して打込みを再開します。この時ブームの中では、斜めシュートの材料分離と同様の現象が起き、粗骨材が先行してしまいます。段取り替えのときの打ち始めと打ち止める時に注意が必要です。

写真1は、日本では禁止されている吊り下げ方式で打ち込む海外の圧送事例ですが、落下の高さを低く設定し、途中で抵抗をつける工夫がなされています。

■打ち込んだコンクリートが材料分離した場合の対処方法

コンクリートは、製造時には各材料の単位量を正確に計量し、十分に練り混ぜますが、その後、運搬する過程で配分が変化する場合があります。これは、材料分離抵抗性を付与した配合設計でも完全に防ぎきれものではありません。そのため、このような材料分離は、施工時にその場で修復する必要があります。具体的には、粗骨材が多く集まった箇所から骨材をすくい取り、モルタルが多いとみなされる箇所に被せて、振動により元の配合に近い状態にすることが必要です。この措置はあくまでも応急措置であり、このような材料分離を生じさせないような配合設計と施工上の配慮が必要です。

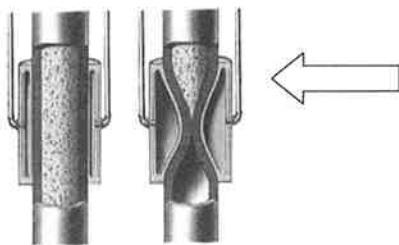


写真1 ポンプ圧送の海外の事例

(写真提供：プツマイスター・ジャパン)

現場の失敗と
その反省
X-3

基礎掘削での失敗

1. 工事内容

この工事は、高さ39.0m、躯体直径8.0m円形、底版縦・横18.0m 高さ4.0m 岩盤掘削直接基礎の橋脚である。

2. 工事経緯

橋脚施工位置の事前測量を行い、地山線の設計と対比確認して掘削丁張りを出して、役所立会で確認終了後掘削作業に入りました。

土砂掘削を進めていくと、計画位置ぐらゐで軟岩、中硬岩に代わりましたので設計の大型ブレーカーに切り替え、掘削作業の指示を行いました。

自分は、岩盤掘削の構造物は施工管理しておりましたが、橋脚の直接基礎は初めてだったので、先輩たちに相談し掘削には気をつけろと言われておりましたが、掘削の作業を早く進めたい為、ほとんど大型ブレーカーで作業を行わせました。

基面まで掘削が終わり整正作業に切替で、人力で浮石を取って岩盤清掃を行いました。

これなら良いだろうと思い、役所に確認立会を御願ひして確認に来られハンマーでたたいて確認され、浮石がかなりあるので全部取って下さいと言われてました。

面積は340㎡ほどあるのを全部取るとなると、かなりの労力を必要と思いました。

浮石撤去には、人力ブレーカーとジェットポンプで洗いながら作業を進めて行きま

したが、地盤が下がるばかりで浮石の無い岩盤になりません。

考えて見れば、基面付近まで大型ブレーカーを使用して、人力掘削を少なくしようと考えたのが間違いでした。

結局、浮石撤去、清掃に一週間3人が作業を行い終了だと思い確認を依頼し確認に来てもらった時、今度はコンサルも来ました。

コンサルと役所が確認して、地盤清掃は良いのですが一部支持力が出ない岩質なのでこの部分を置換えコンクリートにしますので、1m下げてくださいと言われて以前来たときに言ってくれば一緒に掘削出来たのに、又作業しないといけないではと思いましたが、話をしても請負業者なので負けだと思い言いませんでした。

部分盤下げは、今回の事を考えミニブレーカーと人力で作業をしましたので、清掃も早く終わり確認後、均しコンクリートを打ち底版鉄筋組立・型枠組立と作業を進め工事の完了にいたりました。

今回の清掃作業及び部分盤下げで、二週間ほど工程・実行予算的に負担が出た事を悔しく思いました。

3. 反省点

今回の経験を生かし、設計を良く理解し作業を早く進める作業と慎重作業を怠ると、工程に影響が出るか検討し作業計画をする事を学びました。

連合会だより

平成19年度 事業計画・予算書

連合会の平成19年度通常総会は、平成18年5月30日午後2時から東京都千代田区九段アルカディア市ヶ谷において開かれ、以下6議案が承認されました。第1・2号議案については、ホームページにも掲載されています。

- 第1号議案 平成18年度事業報告及び収支決算に関する件
- 第2号議案 平成19年度事業報告及び収支決算に関する件
- 第3号議案 一部理事の交替に関する件
- 第4号議案 営規則第2条第2項の追加に関する件
- 第5号議案 運営規則第7条第2項の追加に関する件
- 第6号議案 監理技術者講習支援基金の会計処理と定款42条に関する件

平成19年度事業計画

1. 土木施工管理技士の技術力の維持及び向上
 - (1)土木施工管理技士を対象とする研修及び講習会の実施
 - ① 継続学習制度(CPDS)の推進
 - ・CPDSの管理運営(評議会の運営、技術者証発行等)
 - ・社内研修確認システムの研究、CPDSに関する技士会に対する助成の実施
 - ② 監理技術者講習の推進
 - ・監理技術者講習の実施、講習に関する技士会に対する助成の実施
 - (2)県等技士会の実施する技術研修、技術交流、講演会、座談会、研究発表会及び現場見学会に対する指導及び支援
 - ① 講習・研修テキストの提供・紹介
 - ② 講習・研修の講師及び現場見学会の紹介
 - (3)土木施工管理技術論文の募集・表彰・公表及びその活用
2. 土木施工管理技士の社会的地位の向上
 - (1)技士・技士会等の表彰事業の実施
 - (2)土木施工管理技士会倫理要綱の周知・広報
 - (3)組織拡充のための活動、現場技術土木管理技士会の新規入会
3. 土木施工管理技士の業務の進歩及び改善に関する調査研究
 - (1)GPSと携帯電話を用いた工事写真システムの研究
 - (2)工事安全のための簡易版コスモスシステムの研究
 - (3)継続学習制度の効果の研究
 - (4)会員サービスのための論文公開と会員名簿システムの研究
4. 土木施工管理技士に関する制度の普及及び協力
 - (1)国土交通省との意見交換会
 - (2)ブロック毎の国土交通省・県などとの意見交換会
5. 本会の目的達成に必要な業務の受託
 - (1)工事管理情報検討業務(SASセンターの運営)
 - (2)監理技術者講習業務
6. 土木施工管理技術に関する情報の収集及び提供
 - (1)会誌「JCMマンスリーレポート」の発行
 - (2)ホームページによる情報提供
 - (3)土木施工管理技術に関する図書の発行
 - ①(既)指定技術講習用テキスト(4分冊)(平成13年版)平成19年度改訂予定
 - ②(既)土木工事写真の手引き(平成11年版)
 - ③(既)土木工事安全施工技術指針(平成13年版)
 - ④(既)土木工事安全施工技術指針の解説(平成13年版)
 - ⑤(既)良いコンクリートを打つための要点(平成18年度改訂)

- ⑥(既)「人」から見た事故防止・建設現場のヒューマンエラー(平成12年度版)
 - ⑦(新)平成18年度土木施工管理技士に関するアンケート結果(平成18年度版)
 - ⑧(既)新しい建設副産物対策(平成14年度版)
 - ⑨(新)技術検定試験問題解説の出題傾向(1級)(平成18年度版)
 - ⑩(新)仮設構造物の設計と施工(土留工)(平成19年度改訂)
 - ⑪(新)第11回土木施工管理技術論文集(平成19年版)
 - ⑫(既)原価管理ソフト(原価まる君)平成17年版
- (4)CPDSに関する情報発信
 - (5)監理技術者講習に関する情報発信
 - (6)工事事故情報管理システム(SASセンター)の管理運営
 - (7)関係機関設置の委員会への参加・協力
 - ①土木施工管理技術検定委員会 国土交通省
 - ②土木施工管理技術検定の総括試験委員会(財)全国建設研修センター
 - ③建設工事事故対策検討委員会(財)国土技術研究センター
 - ④継続教育実行委員会 (財)土木学会
 - ⑤建設系CPD協議会
7. 土木施工管理技士に関する国際交流、その他必要な事業
 - (1)国内他団体との国際交流、その他必要事業
 - ①海外活動団体との情報交換と技術協力の実施
 - ②海外調査の可能性の検討
 8. 公益法人改革に対する適切な対処

収支予算書総括表
平成19年4月1日から平成20年3月31日まで(単位:円)

科 目	合 計	一般会計	特別会計	備考
I. 事業活動の部				
1. 事業活動収入				
人会費収入	200,000	200,000	0	
会費収入	91,000,000	91,000,000	0	
事業収入	17,740,000	0	17,740,000	
技術研修収入	57,400,000	57,400,000	0	
研究発表収入	2,770,000	2,770,000	0	
広告料収入	1,000,000	1,000,000	0	
雑収入	995,000	994,000	1,000	
事業活動収入合計	171,105,000	153,364,000	17,741,000	
2. 事業活動支出				
事業費	72,939,000	56,519,000	16,420,000	
管理費	84,160,000	79,454,000	4,706,000	
事業活動支出合計	157,099,000	135,973,000	21,126,000	
事業活動収支差額	14,006,000	17,391,000	△3,385,000	
II. 投資活動の部				
1. 投資活動収入				
	0	0	0	
2. 投資活動支出				
	12,523,000	11,100,000	1,423,000	
投資活動収支差額	△12,523,000	△11,100,000	△1,423,000	
III. 財務活動の部				
1. 財務活動収入				
	0	0	0	
2. 財務活動支出				
	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV. 予備費支出				
	△1,000,000	△900,000	△100,000	
当期収支差額	483,000	5,391,000	△4,908,000	

収支予算書に対する注記

- 1)本書は、平成17年3月23日の「公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議幹事会申し合わせ」に準拠している
- 2)人件費、事務費は、18年度まで、事業費、管理費に分けて計上していたが、表記の簡素化のため19年度から管理費に一括計上した。人件費、事務費に関する事業費：管理費の実体上の割合は、0.73：0.27を見込む。

表彰事業

表彰者名簿

一、団体

(表彰規程第2条-基準1のイ~ホ)
 福井県土木施工管理技士会
 日本橋梁建設土木施工管理技士会

一、社団法人全国土木施工管理技士会連合会の委員

(表彰規程第3条-基準2の(1)のイ)

今岡 亮司 企画運営委員
 川口 雄常 企画運営委員

小和田 亮 技術論文審査委員

一、土木施工管理技士会の会長

(表彰規程第3条-基準2の(2)のイ)

宮城 政章 (社)岩手県土木施工管理技士会
 藤森 昭男 長野県土木施工管理技士会
 前田 守廣 岐阜県土木施工管理技士会

古小路 汎 宮崎県土木施工管理技士会
 上乘 信義 鹿児島県土木施工管理技士会

一、土木施工管理技士会の役員

(表彰規程第3条-基準2の(2)のロ)

宮脇 敬 (社)北海道土木施工管理技士会
 堀松 幹夫 (社)北海道土木施工管理技士会
 佐藤 博俊 宮城県土木施工管理技士会
 金子 利男 宮城県土木施工管理技士会
 佐藤 吉博 秋田県土木施工管理技士会
 木村 清武 栃木県土木施工管理技士会
 佐藤 憲一 栃木県土木施工管理技士会
 今井 恒夫 群馬県土木施工管理技士会
 三枝 巖 千葉県土木施工管理技士会
 林 清一 東京土木施工管理技士会
 櫻井 義明 山梨県土木施工管理技士会
 澤田 大歳 (社)鳥取県土木施工管理技士会
 松浦 茂吉 島根県土木施工管理技士会
 佐伯 崇 島根県土木施工管理技士会
 粕谷 昌徳 山口県土木施工管理技士会
 木本登樹夫 山口県土木施工管理技士会
 向井 好一 徳島県土木施工管理技士会
 木内 久 香川県土木施工管理技士会
 堀 竹治 香川県土木施工管理技士会
 菅 繁利 愛媛県土木施工管理技士会
 下村 敬喜 愛媛県土木施工管理技士会

林 勝一 長野県土木施工管理技士会
 安達 尚志 新潟県土木施工管理技士会
 小柳直太郎 新潟県土木施工管理技士会
 浅野 彰 富山県土木施工管理技士会
 金谷 進 石川県土木施工管理技士会
 額綱 益裕 岐阜県土木施工管理技士会
 松井 克夫 京都府土木施工管理技士会
 大野 太郎 兵庫県土木施工管理技士会
 竹本 一臣 奈良県土木施工管理技士会
 谷口 邦弘 和歌山県土木施工管理技士会
 松澤 弘一 (社)鳥取県土木施工管理技士会
 川島 将夫 (社)高知県土木施工管理技士会
 東山 瑞穂 (社)高知県土木施工管理技士会
 増田正一郎 佐賀県土木施工管理技士会
 溝口 精由 佐賀県土木施工管理技士会
 高田 秀夫 長崎県土木施工管理技士会
 今村 甚吉 長崎県土木施工管理技士会
 三山 洋 熊本県土木施工管理技士会
 小田修一郎 大分県土木施工管理技士会
 永野征四郎 宮崎県土木施工管理技士会
 宮本 優 宮崎県土木施工管理技士会

一、土木施工管理技士会の職員

(表彰規程第3条-基準2の(2)のハ)

山口 幸仁 (社)岩手県土木施工管理技士会
 和田 尚美 秋田県土木施工管理技士会
 片山加代子 秋田県土木施工管理技士会
 小平 浩明 福島県土木施工管理技士会
 赤羽根幸子 栃木県土木施工管理技士会
 矢野 美幸 栃木県土木施工管理技士会
 小谷野 修 群馬県土木施工管理技士会
 中井 静子 富山県土木施工管理技士会

栗田 幸 京都府土木施工管理技士会
 堀江 美登 島根県土木施工管理技士会
 渡部 充 島根県土木施工管理技士会
 大塚 和代 徳島県土木施工管理技士会
 伴 澄江 愛媛県土木施工管理技士会
 土野 彰三 愛媛県土木施工管理技士会
 鈴木 重剛 宮崎県土木施工管理技士会
 池田 正巳 宮崎県土木施工管理技士会

一、技術の向上に努め、その功績が顕著な者

(表彰規程第4条第1項)

川上 正晴 東京土木施工管理技士会

一、優良工事従事技術者

(表彰規程第4条第2項)

鈴木 操	社北海道土木施工管理技士会	朝長 正志	東京土木施工管理技士会
佐藤 則生	社北海道土木施工管理技士会	齊藤 正直	神奈川県土木施工管理技士会
安居 丈治	社北海道土木施工管理技士会	渡辺 勝男	山梨県土木施工管理技士会
天野 公善	社北海道土木施工管理技士会	谷澤 貞彦	長野県土木施工管理技士会
大森 寛	社北海道土木施工管理技士会	甲田 義信	長野県土木施工管理技士会
遠藤 欣久	社北海道土木施工管理技士会	小林 利二	長野県土木施工管理技士会
一戸 文男	青森県土木施工管理技士会	坂井 正憲	新潟県土木施工管理技士会
向井 輝彦	青森県土木施工管理技士会	長谷川 博	新潟県土木施工管理技士会
森山弘由喜	社岩手県土木施工管理技士会	金子 義明	新潟県土木施工管理技士会
藤井 毅	社岩手県土木施工管理技士会	竹村 崇	富山県土木施工管理技士会
菅原 孝二	宮城県土木施工管理技士会	越田 誠	石川県土木施工管理技士会
尾形 介夫	宮城県土木施工管理技士会	加藤 忠	石川県土木施工管理技士会
長谷部正春	秋田県土木施工管理技士会	河野 義輝	岐阜県土木施工管理技士会
伊藤 均	秋田県土木施工管理技士会	伏見 公年	社静岡県土木施工管理技士会
菅原 幸夫	山形県土木施工管理技士会	大石 忠良	社静岡県土木施工管理技士会
蛭田 茂	福島県土木施工管理技士会	坪井 肇	社静岡県土木施工管理技士会
谷本 勇夫	栃木県土木施工管理技士会	下河 富治	愛知県土木施工管理技士会
柴田雄一郎	栃木県土木施工管理技士会	峰野 全司	愛知県土木施工管理技士会
大原 誠	群馬県土木施工管理技士会	和田 勇	愛知県土木施工管理技士会
駒形 智	埼玉県土木施工管理技士会	小野 悟嗣	三重県土木施工管理技士会
新井 要作	埼玉県土木施工管理技士会	山本 佳弘	三重県土木施工管理技士会
勢旗 勉	埼玉県土木施工管理技士会	上村 尚	三重県土木施工管理技士会
梅沢 正己	埼玉県土木施工管理技士会	川崎 利夫	福井県土木施工管理技士会
石井 博二	千葉県土木施工管理技士会	上田 行雄	福井県土木施工管理技士会
小宮 隆	東京土木施工管理技士会	坂口 増男	社滋賀県土木施工管理技士会
中村 一郎	東京土木施工管理技士会	北阪 徹	社滋賀県土木施工管理技士会
岩田 達哉	兵庫県土木施工管理技士会	浜田 和広	香川県土木施工管理技士会
竹川 正基	社鳥取県土木施工管理技士会	栗田 幸徳	愛媛県土木施工管理技士会
日下 達也	社鳥取県土木施工管理技士会	山岡 愼次	愛媛県土木施工管理技士会
桂 幸雄	社鳥取県土木施工管理技士会	塩崎 隆夫	愛媛県土木施工管理技士会
山根 修	高知県土木施工管理技士会	松本 均	社高知県土木施工管理技士会
小泉雄一郎	高知県土木施工管理技士会	萩原 康史	社高知県土木施工管理技士会
野尻 行雄	鳥根県土木施工管理技士会	原田 利弘	長崎県土木施工管理技士会
赤木 政義	岡山県土木施工管理技士会	森 孝志	長崎県土木施工管理技士会
濱 信夫	岡山県土木施工管理技士会	江藤 則男	大分県土木施工管理技士会
堀野 昭彦	広島県土木施工管理技士会	田中 竜介	大分県土木施工管理技士会
清原 康範	広島県土木施工管理技士会	江藤 義久	宮崎県土木施工管理技士会
河野 太一	広島県土木施工管理技士会	川原 孝之	宮崎県土木施工管理技士会
木下 英紀	広島県土木施工管理技士会	松田 一之	宮崎県土木施工管理技士会
板谷 春敏	山口県土木施工管理技士会	菅井 昭博	日本橋梁建設土木施工管理技士会
塚穴 雅彦	山口県土木施工管理技士会	吉良 浩二	日本橋梁建設土木施工管理技士会
星野 香	徳島県土木施工管理技士会	鎌井 浩二	日本橋梁建設土木施工管理技士会
合田 史郎	香川県土木施工管理技士会	山下 裕次	日本橋梁建設土木施工管理技士会

一、ボランティア活動

(表彰規程第4条第3項)

石井 朗 東京土木施工管理技士会

一、特別の功労者に対する表彰

(表彰基準第5条関係)

関 政義	青森県土木施工管理技士会	山内 龍雄	京都府土木施工管理技士会
野村 忠孝	宮城県土木施工管理技士会	田中 實	奈良県土木施工管理技士会
佐藤 安宏	福島県土木施工管理技士会	井上 和水	社高知県土木施工管理技士会
落合 正則	神奈川県土木施工管理技士会	吉永 一郎	熊本県土木施工管理技士会
河津 敬	社静岡県土木施工管理技士会	小波津 英正	沖縄県土木施工管理技士会
木原 一雄	福井県土木施工管理技士会	高木 録郎	日本橋梁建設土木施工管理技士会

技術論文表彰

第11回土木施工管理技術論文・技術報告入賞者

	表彰の種類	技士会	著者名	標 題	会社名	表彰賞金	ユニット
技術論文	最優秀論文賞	宮 崎	尾上 昭宏	上部工撤去における新工法の開発で大幅なコスト削減	(株)志多組	10万円	30
	ITマネジメント賞	橋 建	神野 勝樹	GPS三次元計測を用いた地組桁の輸送・架設	日本車輛製造(株)	7万円	30
	優秀論文賞	宮 崎	富山 陽人	吊足場の組立工法に関する改善	(株)佐多技建	5万円	20
		橋 建	師山 裕 倉田 幸宏	橋梁場所打ちコンクリート床版用資材運搬の合理化	石川高播磨重工(株)		
		北海道	小原 得誘	鋼管・コンクリート複合橋脚のひび割れ低減対策	西江建設(株)		
社会貢献賞	佐 賀	松江 司	建設業者の地域社会に対する役割	富士建設(株)			
技術報告	優秀報告賞	宮 城	門間 博道	枠組み支保工の移動による安全施工	東日本コンクリート(株)	2万円	15
		宮 城	目黒 仁	PC桁撤去工事における濁水処理	東日本コンクリート(株)		
		福 岡	中渡瀬喜隆	軟弱地盤におけるオールケーシング杭の杭径確保	岡本土木(株)		

本会の総会に引き続き平成19年5月30日午後3時より優良表彰・技術論文表彰式が開催された。技術論文は、昨年を上回る技術論文42編、技術報告26編が応募があり、国土交通省谷口技監を委員長とする審査委員会で審査が行われた。谷口委員長から、入賞作品の一つ一つに好評をいただきました。また表彰式に引き続き、アフガニスタンのペシャワールで医療活動のかたわら、水路の築造の先頭に立って指導されている中村 哲（ペシャワール会）先生をお招きして、講演会を開催いたしました。



谷口審査委員長講評



最優秀論文賞授与



表彰規定に基づく表彰



ペシャワール会医師：中村 哲氏

平成18年度 土木施工管理技士に関するアンケート結果（現場土木技術者の声）

社団法人 全国土木施工管理技士会連合会
専務理事 猪熊 明

1. アンケートの概要

昨今の土木施工管理技士を取り巻く環境は、国の法制度の改正をはじめ技術的にも経営的にも大きく様変わりしている。このため連合会では、技士会会員の現況に応じた新たな対応が必要と考え、各県技士会の協力を得て会員を対象に技術者の意識調査を実施した。

第1回調査は、平成15年（2003年、回答者1,872人）に行い、それから3年を経て平成18年（2006年 回答者1,135人）に2回目の調査を行った。以下に18年の主な調査結果を報告する。

2. 18年アンケートの主な結果と連合会の考え方

問22、問23 提出書類

①問23の主な自由記入結果

- ・電子納品と紙との2重提出がある
- ・仕様書以外での提出がある

・監督官による提出書類の違いがある

②連合会の考え方

電子納品と紙との2重提出の不満が多い。検査などで必要なら、最小限の資料を初めから紙とITと両方での提出という条件にするのも1解決策になるのではないかと考える。

問24、25 項目別発注者への改善要望

①問24の項目別の結果

「設計変更の適切な実施（がなされない）」は、18年調査と15年調査で、1位と変わらず。

「地元説明（の不足）」は、18年調査と15

図1 工事関係提出書類等の簡素化、省力化

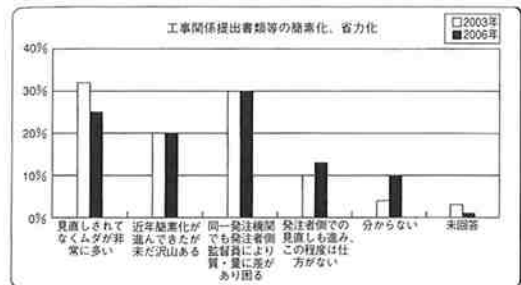


図2 発注者側の要求する工事関係提出書類等の簡素化、省力化

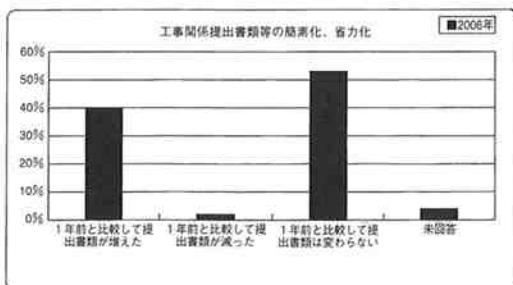
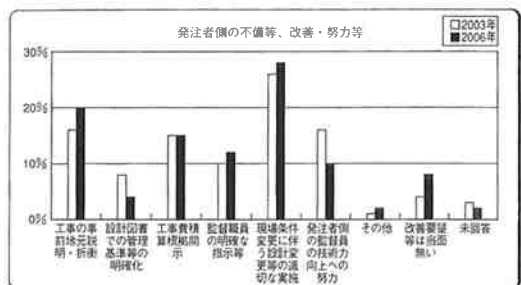


図3 発注者側の不備等、改善・努力等



年調査で、3位→2位に変化。

「発注者の努力（が不足）」は、18年調査と15年調査で、2位→5位に変化。

③問25の主な自由記入結果

・「地元説明（がなされていない）」は、工事の遅れにつながる。

・「設計変更」に関しては、根拠なく金銭的な清算がなされず、赤字になる。

③連合会の考え方

「設計変更」は微妙な問題で、発注者は税金を効率的に使うことを考えており、それを考慮する必要がある。どの程度の品質のものをどの程度の価格で買うかという問題に帰着すると思われる、今後慎重に検討したい。こうした点に該当する場合は以下に示す。

・仮設の変更が（金額的に）認められない場合の責任（発注者の事務増大・任意仮設）

・設計変更金額の上限があることへの不満

・監督官指示が現場管理費の中で見るべきものか新たに清算すべきものか

3. 今後について

今後さらに自由記入欄などの詳細な分析・改善案の研究をして、制度やシステムの改善を各方面に働きかけたい。また現場技術者の状況の変化を知るために、3年後の平成21年度に調査を行う予定である。

詳しくは、(図書)平成18年度 土木施工管理技士に関するアンケート結果（現場土木技術者の声）を参考にして下さい。

お知らせ

継続学習（CPDS）へのログインが携帯電話から、アクセスできます。

携帯電話のバーコードリーダーで右のQRコードを読み取ると下記アドレスが表示されます。



(<http://www.sas.ejcm.or.jp/cpds>)

携帯画面の内容は以下のとおりです。ぜひお試しく下さい。

(但し、携帯電話からのアクセスには、通信料・パケット料がかかります。)

1. お知らせ

連合会のホームページの更新状況

2. 連合会の目的

3. 継続学習（CPDS）学習履歴閲覧

ご自分のユニットを調べることができます。

4. 継続学習（CPDS）加入者のパスワードの発行

新規加入の申込後、CPDSの利用には、パスワードの設定が必要となります。

5. ご意見・お問い合わせ

平成19年度JCMセミナーのご案内（CPDS継続学習認定講習，6ユニット） 現場で役立つ「仮設建造物の設計と施工【土留め工】」と「土木工事写真」

主催：(社)全国土木施工管理技士会連合会（JCM） 後援：(社)全日本建設技術協会

- 施工管理技士に必要な最新の知識に関する講習会を下記日程で開催いたします。多数ご参加くださいますようご案内申し上げます。（受講料は、インターネット申込みが紙申込より500円安くなります。）

■ 講演の内容

「(仮称) 仮設建造物の設計と施工【土留め工】改訂版」新刊発行

「(仮称) 仮設建造物の設計と施工【土留め工】改訂版」から最新のJISの改正点と土留工の設計と施工について事例を交え説明いたします。

「土木工事写真について」

写真管理基準、デジタル写真管理情報基準(案)を参考にわかりやすく説明いたします。

■ 時間割・講師（時間の下段は、札幌会場のみ）

時間	講演名	講師(予定)
10:00～12:00 (9:30～11:30)	「(仮称) 仮設建造物の設計と施工【土留め工】」	飛島建設(株) 土木事業本部 技術統括部設計G課長 荒井 幸夫 他
13:00～15:20 (12:30～14:50)	「(仮称) 仮設建造物の設計と施工【土留め工】」	同 上
15:30～16:30 (15:00～16:00)	「土木工事写真」	各地方整備局講師

■ 講習会使用図書

講習会では、「(仮称) 仮設建造物の設計と施工【土留め工】改訂版」と「土木工事写真の手引き」の2冊の図書を使用します。図書は、当日会場にて配布いたします。また、講習会当日は、筆記用具を持参ください。

■ 講習地・講習日

講習地	講習日	講習会場	定員
札幌	平成19年9月6日(木)	(財)北海道開発協会 6F ホール 札幌市北区北11条西2-10-4 セントラル札幌ビル	110人
仙台	平成19年8月28日(火)	宮城県建設産業会館 1F 大会議室 仙台市青葉区支倉町2-48	200人
東京	平成19年10月11日(木)	マツダ八重洲通りビル B1F 中央区八丁堀1-10-7	70人
名古屋	平成19年9月27日(木)	愛知県勤労会館小ホール 名古屋市昭和区鶴舞1-2-32	200人
広島	平成19年9月20日(木)	鯉城会館 5F 広島市中区大手町1-5-3 広島県民文化センター内	180人
福岡	平成19年9月4日(火)	(財)福岡県建設技術情報センター大研修室 糟屋郡篠栗町大字田中315-1	200人

■ 受講料(振込手数料は、申込者負担)

- ・インターネット申込 (<http://www.ejcm.or.jp>)

会 員：7,500円 (各県等土木施工管理技士会会員、全日本建設技術協会会員)

一 般：10,000円 (上記2団体会員以外)

- ・紙申込

会 員：8,000円 (各県等土木施工管理技士会会員、全日本建設技術協会会員)

一 般：10,500円 (上記2団体会員以外)

- ・講習会使用図書(受講料には、下記図書代金が含まれています。)

・「(仮称) 仮設建造物の設計と施工【土留め工】改訂版 定 価(一般)2,900円(会員)2,500円

・「土木工事写真の手引き」 定 価(一般)4,900円(会員)3,900円

- ・その他：継続学習制度(CPDS)について

インターネット申込では講習会の申し込みと同時に、継続学習制度に申し込みます(別途料金が必要)。発注者の方やコンサルタントの方もこの機会に継続学習を始めてはいかがでしょうか。

JCMセミナー申込

■ 申込み方法等

- 申込み方法には、この申込書による紙申込とインターネット申込の2つの方法を選択して申込みできます。
インターネット申込の場合は、紙申込より500円安くなります(www.ejcm.or.jpから申込みすることができます)。
- 紙申込の場合

①連絡先にメールアドレスを記入して頂いた申込者は、表-2のJCMセミナー申込書に記入しコピーをFAXか郵便で技士会連合会(JCM)に送付してください。JCMより受付番号の付いた受付メールが送られます。メールにある受講料を下記に郵便振込後、送金票のコピーに受付番号を記入して、JCMに再度FAXしてください。JCMは、FAXを受領後、領収書を兼ねた受講票をメールで受講者に送信します(料金は表-1より500円割引になります)。

②連絡先にメールアドレスを記入されない申込者は、表-1の料金を郵便振込後、送金票のコピーと表-2の申込書のコピーをJCMにFAXしてください。JCMはFAXを受領後、領収書兼用受講票をはがきで送付致します。

表-1 送金一覧表 (振込手数料は、申込者負担)

区 別	内 訳	受講料(円)	学習履歴登録料(円)注2)	計 (円)	
技士会会員	土木施工管理技士会会員等 注1)	8,000	登録の有無に関わらず	0	8,000
非会員	上記2団体会員以外	10,500	登録しない	0	10,500
			登録する	1,000	11,500

注1) 全日本建設技術協会会員を含みます。 注2) 学習履歴については下のCPDSの囲みをご覧ください。

3. 申込みは定員に達し次第締め切らせて頂きます。申込み状況はホームページ又は電話でご確認ください。

表-2 JCMセミナー申込書

1	申請日	(西暦) 2007年 月 日		
2	講習地	<input type="checkbox"/> 札幌 <input type="checkbox"/> 仙台 <input type="checkbox"/> 東京 <input type="checkbox"/> 名古屋 <input type="checkbox"/> 広島 <input type="checkbox"/> 福岡	該当の□へレ	
3	フリガナ			
4	受講者氏名			
5	所 属	<input type="checkbox"/> () 土木施工管理技士会 (技士会名を記入) <input type="checkbox"/> 全日本建設技術協会会員 <input type="checkbox"/> 一 般 (上記会員以外)	該当の□へレの上必要事項を記入未記入の場合は一般扱となります。	
6	連 絡 先	<input type="checkbox"/> 勤務先 <input type="checkbox"/> 自宅	該当の□へレ	
7	連絡先住所・E-mail	〒 - -	郵便番号は必ずご記入ください。メール記入者には、受講票をメールにて送付いたします。	
		E-mail		
		TEL		- -
8	生年月日	(西暦) 19 年 月 日		
9	資 格	土木施工管理技士資格技術検定合格番号 () 級 番号 ()	未取得者は空欄で可	
10	学習履歴登録	<input type="checkbox"/> 希望有 CPDS登録番号 () 注) 番号不明の場合はVだけで結構ですが、非加入者は申請を認めません。	該当の□へレ	
11	通 信 欄		全日本建設技術協会会員等で請求書が必要な場合は宛先等詳しくご記入ください	

■ 申込み・問合せ先・送金先

(社)全国土木施工管理技士会連合会

〒102-0074 東京都千代田区九段南4-8-30 アルス市ヶ谷3F URL <http://www.ejcm.or.jp/>

TEL 直通 03-3262-7425 代表 03-3262-7421 FAX 03-3262-7424

送金先

郵便払込口座番号:00110-7-352803 口座名称:JCMセミナー

※継続学習制度(CPDS)と手続き料金について

連合会の継続学習制度は、加入者が講習会などに参加した場合に、そうした学習の記録を残し必要により学習履歴を証明するシステムです。連合会ホームページで詳しく説明し新規加入もできますのでご覧ください。

学習履歴登録にはCPDSへの加入が必要となります。

本セミナーでは、受講後、希望者に学習履歴が登録され学習単位6ユニットが付与されます。

学習履歴登録希望者には次の手続き料金が必要です。

- ・CPDS新規加入料 各県等土木施工管理技士会会員：1,300円 技士会会員以外：3,000円
- ・学習履歴登録料 各県等土木施工管理技士会会員：無料 技士会会員以外：1,000円

第12回 土木施工管理 技術論文・技術報告 募集

— 技士会会員対象 —

(社)全国土木施工管理技士会連合会(協賛:(財)日本建設情報総合センター、(社)日本土木工業協会)は、以下の論文・報告を募集します。優秀な論文・報告に対しては、最優秀論文賞等の賞を設け表彰を行います。CPDS登録対象事業として登録を希望される応募者には学習単位が付与されます。

応募要領

1. 募集対象者: 技士会会員(土木施工管理技士)個人または連名
2. 対象工事: 工事規模の大小・工種の制限はありません。情報化技術を活用し、建設事業の効率向上が図られた情報システムの報告。出来るだけ最近の経験等をお願いいたします。他で応募した受賞論文は除きます。
3. 記述形式: 記述形式は以下の2通りあります。それぞれで応募していただけますが、分量・内容によって事務局で論文区分を変更させていただく場合があります。

(1) 技術論文

- 1) 内容: 日頃実践している工事施工管理について、現場や職場での経験・主張したいこと。苦勞、工夫・挑戦・改善・反省したこと。それらの結果および効果に関する論文。
・情報化技術を活用し、建設事業の効率向上が図られた情報システムに関する論文。
・工事を円滑にするための共通部門や管理部門などにおけるITによる効率化やマネジメント改善の論文。
- 2) 項目: ①はじめに ②現場における課題・問題点 ③対応策・工夫改良点(特に個人として実行したこと) ④おわりに また写真・図表には番号とタイトルを付けてください。
- 3) 題名・字数: 必ず具体的な題名をつけ、図表を含む1,700字/頁程度【A4:4頁】(写真・図表は全体の半分まで) ただし、原則A4 2頁以下は、技術報告とする。

(2) 技術報告

- 1) 内容: 現場における簡単な創意工夫が効率向上に重要な役割を果たした等の報告
- 2) 項目: ①適用工種 ②改善提案 ③従来工法の問題点 ④工夫・改善点 ⑤効果 ⑥適用条件 ⑦採用時の留意点 また写真・図表には番号とタイトルを付けてください。
- 3) 題名・字数: 必ず具体的な題名をつけ、説明文1,700字程度(1頁)+写真・図(1頁)【A4で2頁】
ただし1頁以下で写真・図のないものは、不可とする。
4. 応募方法: 応募用紙とインターネットの2つの応募方法があります。インターネット応募は、HPを参照。
5. 原稿提出形式: 原稿は、原則見本例を使用してください。3MB以上のデータもしくは応募用紙で応募の場合は、FD・CDに紙プリントを添えて各技士会に郵送してください。原稿見本例 Word 様式、最優秀論文および技術報告見本例を本会HP(www.ejcm.or.jp)技術論文に掲載しています。

6. 表彰・CPDS 学習単位

分類	賞の種類	表彰賞金	ユニット	備考
技術論文	最優秀論文賞	10万円 1名(増岡康治記念会を含む)	30	ITマネジメントも含め、最も優秀な論文
	ITマネジメント賞	7万円 1名	30	ITマネジメントに該当する優秀な技術論文
	優秀論文賞	5万円 3~4名程度	20	ITマネジメントも含め、優秀な論文
	社会貢献賞	5万円 1名	20	仕事に対する取り組み姿勢、技術者としての社会に対する貢献度等を評価します。
	技術論文応募	5千円 図書カード贈呈	15	入賞しなかった技術論文応募者
技術報告	優秀報告賞	2万円 2~3名程度	15	現場における工夫例を記述します。
	技術報告応募	3千円 図書カード贈呈	10	入賞しなかった技術報告応募者

注) 応募論文総数により表彰対象数が異なることがあります。

「賞の種類」が重複した場合は、CPDS学習単位の高い方のユニットが付与されます。重複加算はいたしません。

7. 発表: 本会のHP・機関誌JCMマンスリーレポートに掲載、入賞者の方には簡単な内容紹介を別途お願いすることがあります。
8. 締切: 平成20年1月21日(月) (社)全国土木施工管理技士会連合会着
9. 原稿提出先: 各都道府県等土木施工管理技士会事務局(インターネット申込の場合は、連合会)

技術論文・技術報告 応募用紙

応募方法

応募用紙とインターネット応募の2つの方法があります(www.ejcm.or.jpの技術論文・技術報告を参照してください)。

論文の種類

応募される論文の種類を選択して○で囲んでください。

1. 技術論文 (A4:4 頁) 2. 技術報告 (A4:2 頁)

分野

施工計画 工程管理 品質管理 安全管理 環境管理 原価管理 新技術・新工法 社会貢献
 イメージアップ IT・ITマネジメント その他 _____

注) 主要な該当分野を1つ選択して○で囲んでください。

標 題

注) 標題は、具体的に記入してください。

主執筆者・共同執筆者の区別 (該当する方を選択して○で囲んでください。)

主執筆者と共同執筆者は、別々の用紙に記入してください。

1	申請日	(西暦) 200 年 月 日	
2	フリガナ		
3	申請者氏名		
4	所属技士会	<input type="checkbox"/> () 土木施工管理技士会	
5	役 職	<input type="checkbox"/> 経営者 <input type="checkbox"/> 本支店管理職 <input type="checkbox"/> 現場所長 <input type="checkbox"/> 現場主任 <input type="checkbox"/> 工事係 <input type="checkbox"/> その他 役職名 _____	該当の□へ✓
6	連絡先	<input type="checkbox"/> 勤務先 () <input type="checkbox"/> 自宅	該当の□へ✓
7	連絡先住所・ E-mail・TEL	〒 _____	郵便番号、E-mail、TEL は、必ずご記入ください。
		E-mail _____	
		TEL _____	
8	生年月日	(西暦) 19 年 月 日	
9	資 格	土木施工管理技士資格技術検定合格番号 () 級 番号 ()	未取得者は空欄で可
10	学習履歴登録	<input type="checkbox"/> 希望有 CPDS登録番号 () 注) 番号不明の場合は、✓ だけで結構ですが、非加入者は申請を認めません。	該当の□へ✓
11	備 考		

CPDS学習単位の登録にはCPDSへの加入が必要です。新規加入は、連合会のホームページからできます。

CPDS学習履歴登録希望者添付書類:

- ① CPDS加入済 技士会会員 : この応募用紙だけで結構です。会員の学習単位登録は無料です。
 ② CPDS加入済 非会員 : 技士会非会員の方は、技術論文募集には応募できません。

平成 19 年度現場の失敗応募要領・ 応募用紙

現場で今思えばこんな失敗してしまったという事例をご紹介ください。

応 募 要 領

1. 募集対象者：技士会会員（土木施工管理技士）個人また連名
2. 対象工事：工事規模の大小・工種の制限はありません。他の応募での受賞作品は除きます。
3. 記述形式：（内容）技士自身あるいは技士の身近で起こった失敗例。
（字数）説明文 3,000 字以内（写真や図も半分位まで可）【A4 で 2 頁程度】
4. 応募方法：応募用紙とインターネット応募の 2 つの方法があります。
応募者全員に 3,000 円の図書カードを各技士会から送付いたします。
5. 原稿提出形式：原稿は、Word・Excel 等 2 段組で作成し、応募用紙で応募の場合は、FD または CD に紙プリントを添えて各技士会へ郵送してください。（JCMマンスリーレポート参照）
6. CPDS(継続学習制度)学習単位：登録を希望される応募者に、10 エニット付与します。
7. 発表： 本会の機関誌（JCMマンスリーレポートに厳選の上掲載。原稿は、すべて匿名とし、技士会名、地名、固有名詞も掲載いたしません。）提出された原稿の著作権は、（社）全国土木施工管理技士会連合会が有します。
8. 締 切： 平成 20 年 1 月 21 日（月）（社）全国土木施工管理技士会着
9. 原稿提出先：各都道府県等土木施工管理技士会事務局（インターネット申込の場合は、連合会）

<現場の失敗>

応 募 用 紙

分 野

品質管理 工程管理 原価管理 安全管理 環境管理 他 _____

注）主要な該当分野を 1 つ選択して○で囲んでください。

標 題(標題は、具体的に記入してください。)

主執筆者・共同執筆者（該当に○）

1	申請日	(西暦) 200 年 月 日		
2	フリガナ			
3	申請者氏名			
4	所属技士会	<input type="checkbox"/> () 土木施工管理技士会		
5	連絡先	<input type="checkbox"/> 勤務先 () <input type="checkbox"/> 自宅	該当の <input type="checkbox"/> へ✓	
6	連絡先住所・E-mail	〒 — —	郵便番号、E-mail、TEL は、必ずご記入ください。	
		E-mail		
		TEL		— —
7	生年月日	(西暦) 19 年 月 日		
8	資格	土木施工管理技士資格技術検定合格番号 () 級 番 号 ()	未取得者は空欄で可	
9	学習履歴登録	<input type="checkbox"/> 希望有 CPDS 登録番号 () 注) 番号不明の場合は、✓ だけで結構ですが、非加入者は申請を認めません。	該当の <input type="checkbox"/> へ✓	
10	備考			

CPDS 学習単位の登録には CPDS への加入が必要です。新規加入は、連合会のホームページの CPDS からできます。

CPDS 学習履歴登録希望者添付書類：

- ① CPDS 加入済 技士会会員：この応募用紙だけで結構です。会員の学習単位登録は無料です。
- ② CPDS 加入済 非会員：技士会非会員の方は、応募できません。

新刊図書案内

良いコンクリートを打つための要点(改訂7版) (平成18年11月発刊)

コンクリート構造物の設計と性能の照査・検査を追加、各種データを更新B5版で大変読みやすくなりました。

コンクリートに携わる技術者の方や土木施工管理技士、コンクリート技士・主任技士、コンクリート診断士等の受験を予定されている方には、大変参考になります。この機会にぜひお求めください。詳しい図書案内・申し込みは、ホームページ(www.ejcm.or.jp)をご覧ください。インターネットから注文ができます。

図書概要 第1章 知っておきたいコンクリートの基礎知識

第2章 コンクリート構造物の設計と性能の照査・検査

第3章 コンクリートの施工と管理の要点

第4章 生コンの上手な使い方

第5章 コンクリートのひび割れとその対策

第6章 特殊な配慮が必要なコンクリート

第7章 コンクリート技術の歴史と展望

編者(株)大林組技術研究所 副所長 十河茂幸 発行(社)全国土木施工管理技士会連合会



第11回土木施工管理技術論文集(平成19年3月発刊)

技術論文集は、全国の土木施工管理技士会会員より応募された技術論文42編、技術報告26編を収録しています。技術論文の分野は、工程・品質・安全・環境管理、新技術・新工法、社会貢献・イメージアップ・IT活用など広範囲に渡っています。この論文集の論文の中から、国土交通技監を始めとする技術論文審査委員会にて審議の上、最優秀技術論文賞等を選出し平成19年5月に表彰を行いました。バックナンバーは、ホームページで確認ください。

編集・発行(社)全国土木施工管理技士会連合会



申し込み・お問い合わせ

〒102-0074 東京都千代田区九段南4-8-30 アルス市ヶ谷3階 TEL 03-3262-7421、FAX 03-3262-7424

図書申込書

図書名	数量	定価	会員価格	備考
第11回土木施工管理技術論文集		1,500	1,200	送料込み
良いコンクリートを打つための要点<改訂第7版>		2,800	2,470	送料込み
平成18年度土木施工管理技士に関するアンケート結果		900	800	送料込み
送付先(住所・会社名・担当者名)	計			送料込み
〒	会社名			
	担当者			
所属技士会 _____土木施工管理技士会	TEL			
通信欄				

図書注文方法

注)各技士会会員の方は、会員価格となります。

1. インターネットの場合

連合会ホームページ(www.ejcm.or.jp)の図書・ソフト一覧購入サイトからオンライン購入できます。

2. FAXの場合

上記事項を記入の上、図書申込書をFAX(03-3262-7424)で送信し、下記送金先に送金した後、この申込書と送金票をJCMにFAXしてください。JCMは、FAXを確認後、注文の図書を数日以内に送付いたします。

領収書が必要な場合や急ぎ送付を希望の方は、その旨通信欄に記入してください。

送金先

1.郵便振込口座：10150-57847151 口座名称：シャダンホウジン ゼンコドボクセコウカンリギシカイレンゴウカイ

2.銀行口座：三菱東京UFJ銀行 市ヶ谷支店(普通)0976041 口座名称：社団法人 全国土木施工管理技士会連合会

施工単価の動向

—防護柵、標識が製品市況高を受け上伸—

財団法人 建設物価調査会

平成19年度の建設投資（建設経済研究所発表）は、53兆2800億円（前年度比0.7%減）となる見通し。内訳は、政府投資が17兆6200億円（同5.7%減）、民間投資が35兆6600億円（同1.9%増）となっている。民間投資は好調に推移しているものの、政府投資減少の直撃を受ける土木業界は、引き続き厳しい環境が続くものと思われる。

「土木工事市場単価」の各工種の価格動向は、ガードレール、ガードパイプ、道路標識、道路付属物が一段高商状となっている。これは、高値水準を続ける鋼材市況に加え、製造時のメッキに使用する亜鉛が高騰し、鋼材加工の製造コストに影響が生じたことから製品価格が上

伸、ここにきて市場単価への転嫁が浸透したものである。その他の工種は、総じて横ばい推移となっている。

しかし、一方では鋼材市況高騰や原油高による製造コスト高並びに輸送コスト高による資材価格の上伸がみられ、他方では公共事業費削減を背景とした受注競争が激しさを増すなかで、落札額と工事費の元・下請間の取引関係が、市場単価にどのような影響を及ぼすのか、今後の動向が注目される。

(単位:円)

市場単価調査結果

「土木コスト情報」2007年冬号から抜粋

工種	名称	摘要	単位	北海道	宮城県	東京都	新潟県	愛知県	大阪府	広島県	香川県	福岡県	沖縄県	備考
鉄筋工	一般構造物		t	44,000	43,000	45,000	47,000	46,000	45,000	45,000	46,000	46,000	48,000	鉄筋代含まず
区画線工	溶融式(手動) 供用区間 塗布厚1.5mm	鉄線・ゼブラ、白・黄緑幅15cm	m	245	240	230	255	235	230	240	230	240	230	材工共
		鉄線・ゼブラ、白・黄緑幅15cm	※	570	550	540	600	560	540	560	550	570	555	
インターロッキングブロック工	一般部設置 直線配置	厚6cm	m ²	5,000	4,200	3,900	4,400	4,200	3,800	4,200	4,200	4,100	5,200	材工共 標準品
		厚8cm	※	5,400	4,400	4,100	4,600	4,400	4,000	4,400	4,400	4,300	5,400	
ガードレール設置工	Gr-B-4E(塗装品)	土中建込	m	5,510	5,620	5,660	5,670	5,620	5,610	5,590	5,620	5,620	5,750	材工共
		コンクリート建込	※	5,460	5,710	5,770	5,820	5,710	5,680	5,650	5,710	5,710	5,820	
ガードパイプ設置工	Gr-Bp-2E(塗装品)	土中建込	m	9,460	9,610	9,660	9,660	9,610	9,710	9,560	9,510	9,510	9,900	材工共
		コンクリート建込	※	6,830	6,980	7,030	7,030	6,980	7,080	6,930	6,930	6,930	7,210	
横断・転落防止柵設置工	支柱間隔3.0m ビーム・パネル式	土中建込	m	930	950	950	970	950	960	910	910	930	980	手間のみ
		コンクリート建込	※	670	690	690	700	690	690	640	640	670	710	
落石防護柵設置工	中間支柱設置工 端末支柱設置工	柵高1.5m	本	14,400	14,000	14,200	14,500	14,200	14,000	14,000	14,000	14,000	14,500	材工共
		柵高1.5m	※	66,700	65,900	66,100	67,500	66,100	65,500	65,500	65,500	65,500	68,000	
落石防止網設置工	金網・ロープ設置 アンカー設置	柵高1.5m ロープ5本	m	5,750	5,820	5,770	6,000	5,880	5,900	5,800	5,900	5,800	6,000	材工共
		線径4.0mm	m ³	3,780	3,990	3,970	3,990	3,940	3,680	3,680	3,760	3,760	4,150	
道路標識設置工	建柱(箱型)・車柱式 標識板設置	メッキ品φ76.3	基	24,300	27,000	27,300	29,200	27,800	26,700	26,400	26,400	27,000	32,600	材工共
		警戒・視認・指示・路標番号	※	2,000	2,400	2,450	2,500	2,600	2,350	2,350	2,400	2,500	2,650	
道路付属物工	視線誘導標設置 土中建込	両面反射φ100以下	本	4,150	5,150	5,200	5,180	5,250	5,200	5,150	5,150	5,150	5,300	材工共 支柱径φ34mm
		片面反射φ100以下	※	—	4,610	4,660	4,640	4,710	4,660	4,610	4,610	4,610	4,760	
排水構造物工 (U型側溝)	L=600mm L=2000mm	60kg/個以下	m	2,600	2,900	2,600	2,600	2,850	2,800	2,650	2,700	2,750	3,100	手間のみ
		1000kg/個以下	※	2,800	2,950	2,700	3,000	2,950	2,900	2,750	2,900	2,850	3,200	
コンクリートブロック工	JIS規格品・順込め・裏込め材料費を含まず		m ²	12,550	11,200	11,700	11,700	11,800	11,800	10,300	11,100	11,000	12,300	材工共
法面工 (噴射護岸工による植生工)	植生基材吹付工	厚5cm	m ²	3,850	3,950	4,000	3,950	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,100	材工共
		厚8cm	※	5,400	5,500	5,500	5,550	5,600	5,450	5,600	5,500	5,500	5,600	
法面工 (人力施工による植生工)	植生筋工(人工筋芝) 根芝工(野芝・高麗芝)	種子帯	m ²	930	960	990	960	1,020	960	960	960	960	1,170	材工共
		全面張	※	580	1,330	1,310	1,290	1,360	1,290	1,270	1,320	1,230	1,550	
吹付砕工	モルタル・コンクリート	300×300	m	11,000	11,900	12,100	12,200	12,200	11,100	11,300	11,800	11,300	12,200	材工共
鉄筋挿入工	現場条件I	クレーン施工	m	4,000	4,300	4,350	4,400	4,550	4,300	4,200	4,350	4,400	4,600	手間のみ
道路植栽工	植樹工・中木 植樹工・高木	樹高200cm以上300cm未満	本	2,570	3,070	2,800	3,000	3,040	2,660	2,660	2,950	2,950	3,580	樹木代含まず
		幹周20cm未満	※	4,940	5,700	5,400	5,780	5,800	5,060	4,880	5,420	5,420	6,540	
公園植栽工	植樹工・中木 支柱設置・中木	樹高200cm以上300cm未満	本	2,400	2,890	2,660	2,910	2,950	2,440	2,440	2,800	2,850	3,040	樹木代含まず
		二期母線径30cm以上 樹高250cm以上	※	4,750	4,750	4,470	4,750	4,850	4,240	4,000	4,510	4,600	5,700	
橋梁塗装工	下塗り塗装(新橋) 上塗り塗装・系膜塗膜共通	鉛系さび止めペイント	m ²	425	410	420	410	420	410	400	400	400	480	材工共
		長油性フタル酸(淡彩)	※	445	410	430	410	430	410	410	410	410	485	
橋梁用伸縮継手装置設置工	新設・普通型 補修・普通型	2車線相当	※	29,000	32,000	31,100	32,600	32,500	30,500	30,000	31,000	33,000	36,100	装置代含まず
		2車線相当	※	68,000	73,900	73,300	74,100	74,500	72,000	72,500	73,000	76,000	73,600	
薄層カラー舗装工	樹脂モルタル舗装工 樹脂系すべり止め舗装工	厚6mm以下	m ²	5,100	5,200	5,200	5,200	5,200	5,200	5,200	5,200	5,200	5,500	材工共
		RPN-4	※	4,600	4,600	4,600	4,700	4,700	4,600	4,600	4,700	4,600	4,900	
構造物とりこわし工	無筋構造物 鉄筋構造物	機械施工	m ³	5,800	5,900	5,800	6,000	6,300	5,800	5,800	6,000	6,000	6,800	手間のみ
		鉄筋構造物	※	10,600	11,000	11,000	11,500	12,000	11,000	11,000	11,000	11,000	12,500	
軟弱地盤処理工	サンドドレーン工 サンドコンパクションバイブル工	打設長10~20m	m	1,200	1,150	1,150	1,150	1,150	1,150	1,150	1,150	1,150	1,200	手間のみ
			※	2,450	2,350	2,350	2,350	2,350	2,350	2,350	2,350	2,350	2,500	

建設資材の価格動向

「鋼材市況堅調、石油製品も再上昇」

財団法人 経済調査会

我が国経済の動向をみると、政府は本年5月の月例経済報告にて、①企業収益の改善・設備投資の増加、②雇用情勢の改善の広がり、③個人消費は持ち直しの動き、④輸出・生産は横ばい、などをあげており、先行きは国内民間需要に伴う景気回復を見込んでいる。

他方、資材市況については、異形棒鋼・H形鋼に代表される鋼材が堅調なほか、原油価格の上伸等から石油製品価格が再上昇していることが特色としてあげられる。

【異形棒鋼：東京価格】

民間物件を中心に需要は堅調。鉄屑価格が高値圏で推移する中、製販共に値上げを進めている。需要家は抵抗

材料に乏しく、商談は販売側優位に展開し、3月以降、毎月kg当たり1円上昇。目先は強含み横ばいで推移。

【H形鋼：東京価格】

鉄屑価格の高騰などからメーカー各社は値上げを展開、市中の先高観が強まり、流通側の売り腰は強い。4月にkg当たり上昇し、その後も強含み推移。

【軽油スタンド：東京価格】

原油価格は上伸を受け、元売側は仕切価格を3月以降、4ヶ月連続して値上げしている。スタンド側も採算確保を図るべく価格を引き上げており、市況は5月に前月比リットル当たり4円上昇。先行きも強含み。

主要資材の価格推移（東京）

品名規格	異形棒鋼 SD295AD16 (kg)		H形鋼 300×300×10× 15 SS400 (kg)		セメント 普通ポルトランド バラ (t)		生コンクリート 粗骨材20mm 強度21スランブ 18 (m³)		クラッシュラン 40~0mm (m³)		PHCパイプ 350×10A種 (本)		ヒューム管外圧 管1種B形 300×30×2.0 (本)	
平成11年	25.1	95.9	32.2	100.1	8,730	98.5	12,060	100.5	3,870	106.0	31,900	109.4	5,780	98.1
平成12年	26.2	100.0	32.2	100.0	8,867	100.0	12,000	100.0	3,650	100.0	29,158	100.0	5,889	100.0
平成13年	26.8	102.4	35.0	108.8	8,680	97.9	11,910	99.3	3,610	98.9	29,000	99.5	6,150	104.4
平成14年	29.5	112.7	37.0	115.0	8,170	92.1	11,500	95.8	3,380	92.6	29,000	99.5	6,430	109.2
平成15年	36.9	141.0	44.8	139.3	8,280	93.4	11,500	95.8	3,208	87.9	29,000	99.5	6,430	109.2
平成16年	54.2	207.1	71.4	222.0	8,350	94.2	11,500	95.8	3,130	85.8	29,000	99.5	6,640	112.7
平成17年	57.7	220.5	75.7	235.3	8,500	95.9	11,500	95.8	3,000	82.2	29,000	99.5	7,070	120.1
平成18年	57.4	219.4	75.0	233.2	8,500	95.9	11,500	95.8	3,000	82.2	29,000	99.5	7,070	120.1
平成18年7月	58.0	221.7	75.0	233.2	8,500	95.9	11,500	95.8	3,000	82.2	29,000	99.5	7,070	120.1
8月	58.0	221.7	75.0	233.2	8,500	95.9	11,500	95.8	3,000	82.2	29,000	99.5	7,070	120.1
9月	59.0	225.5	75.0	233.2	8,500	95.9	11,500	95.8	3,000	82.2	29,000	99.5	7,070	120.1
10月	59.0	225.5	75.0	233.2	8,500	95.9	11,500	95.8	3,000	82.2	29,000	99.5	7,070	120.1
11月	59.0	225.5	75.0	233.2	8,500	95.9	11,500	95.8	3,000	82.2	29,000	99.5	7,070	120.1
12月	59.0	225.5	75.0	233.2	8,500	95.9	11,500	95.8	3,000	82.2	29,000	99.5	7,070	120.1
平成19年1月	60.0	229.3	75.0	233.2	8,500	95.9	11,500	95.8	3,000	82.2	29,000	99.5	7,070	120.1
2月	63.0	240.8	75.0	233.2	8,500	95.9	11,500	95.8	3,000	82.2	29,000	99.5	7,070	120.1
3月	65.0	248.4	75.0	233.2	8,500	95.9	11,500	95.8	3,000	82.2	29,000	99.5	7,070	120.1
4月	66.0	252.2	75.0	233.2	8,500	95.9	11,500	95.8	3,000	82.2	29,000	99.5	7,070	120.1
5月	67.0	256.1	76.0	236.3	8,500	95.9	11,500	95.8	3,000	82.2	29,000	99.5	7,070	120.1
6月	68.0	259.9	76.0	236.3	8,500	95.9	11,500	95.8	3,000	82.2	29,000	99.5	7,070	120.1

品名規格	アスファルト混合 物 密粒度 (13) (t)		型枠用合板 輸入品 12×900×1800 (枚)		米ツ方正角材 (本国挽き) 101×4 1/8× 41/8in等級込み (m³)		IV電線 600Vビニル単線 1.6mm (m)		配管用炭素鋼管黒 管ねじなし25A (本)		硬質塩化ビニル 管一般管 (VP) 50mm (本)		軽油スタンド (L)	
平成11年	6,970	101.0	930	116.3	43,580	105.9	10.1	98.2	1,120	100.4	1,160	99.1	77	101.1
平成12年	6,900	100.0	800	100.0	41,170	100.0	10.3	100.0	1,115	100.0	1,170	100.0	76	100.0
平成13年	6,900	100.0	780	97.5	38,830	94.3	10.4	101.1	1,060	95.1	1,180	100.9	75	98.5
平成14年	6,830	99.0	810	101.3	38,000	92.3	10.5	102.1	1,020	91.5	1,140	97.4	74	97.2
平成15年	6,800	98.6	810	101.3	37,170	90.3	10.1	98.2	1,070	96.0	1,100	94.0	76	99.8
平成16年	6,820	98.8	870	108.8	38,000	92.3	11.5	111.8	1,180	105.8	1,140	97.4	80	105.0
平成17年	7,180	104.1	850	106.3	37,170	90.3	12.9	125.4	1,550	139.0	1,160	99.1	92	120.1
平成18年	7,900	114.5	1,150	143.8	39,670	96.4	21.0	204.2	1,600	143.5	1,210	103.4	101	133.1
平成18年7月	7,800	113.0	1,150	143.8	40,000	97.2	23.4	227.6	1,600	143.5	1,200	102.6	100	131.3
8月	7,800	113.0	1,250	156.3	40,000	97.2	24.2	235.3	1,600	143.5	1,200	102.6	108	141.8
9月	8,100	117.4	1,350	168.8	40,000	97.2	24.2	235.3	1,600	143.5	1,240	106.0	108	141.8
10月	8,100	117.4	1,420	177.5	41,000	99.6	25.4	247.0	1,600	143.5	1,240	106.0	106	139.2
11月	8,100	117.4	1,480	185.0	41,000	99.6	25.4	247.0	1,600	143.5	1,240	106.0	101	132.6
12月	8,100	117.4	1,480	185.0	41,000	99.6	25.0	243.1	1,600	143.5	1,240	106.0	100	131.3
平成19年1月	8,100	117.4	1,480	185.0	42,000	102.0	25.0	243.1	1,600	143.5	1,240	106.0	99	130.0
2月	8,100	117.4	1,410	176.3	42,000	102.0	23.3	226.6	1,600	143.5	1,240	106.0	97	127.4
3月	8,100	117.4	1,370	171.3	43,000	104.4	23.3	226.6	1,600	143.5	1,240	106.0	95	124.7
4月	8,100	117.4	1,350	168.8	43,000	104.4	24.6	239.2	1,600	143.5	1,240	106.0	95	124.7
5月	8,100	117.4	1,350	168.8	43,000	104.4	27.5	267.4	1,600	143.5	1,240	106.0	99	130.0
6月	8,100	117.4	1,350	168.8	43,000	104.4	27.5	267.4	1,600	143.5	1,240	106.0	99	130.0

注) 1.各月の調査時点は原則として毎月1～6日です。
2.各資材の左欄は実取引価格(単位:円)、右欄は平成12年平均を100.0とした指数です。
3.年平均価格は単純算術平均により算出したもので、有効数字上位4桁まで表示し、5桁目を四捨五入したものです。

現場技術土木施工管理技士会

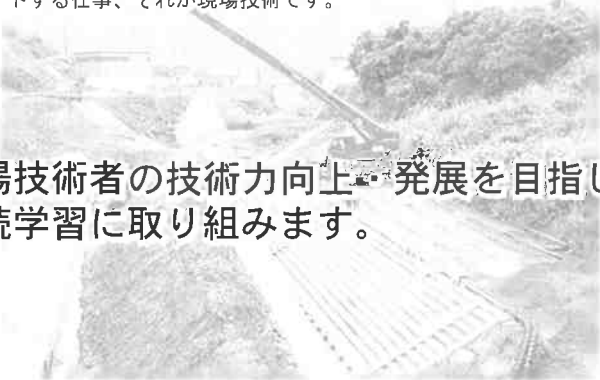
会長 伊達 徹

目 的

現場技術土木施工管理技士会は、現場技術業務等に従事する技術者を中心に、会員相互の協力によって、土木施工管理技術に関する幅広い情報の交換、技術研修、研鑽と社会的地位の向上及び優秀な技術者の確保、育成と、その社会的評価の向上に努め、社会資本整備の推進と国民生活の向上に寄与することを目的として活動しています。

『現場技術』

社会資本整備事業に関する施工現場の最前線に監督補助員として、十分な専門知識と経験を積んだ技術者が、工事の施工管理、品質管理、安全管理、工程管理を行って発注者をサポートする仕事、それが現場技術です。



現場技術者の技術力向上と発展を目指して
継続学習に取り組めます。

平成19年6月1日よりJCM正会員に正式加入致しました。

ECMA field expert for Construction Managing Engineers Associations

現場技術土木施工管理技士会

〒111-0053 東京都台東区浅草橋5-10-12 菊島ビル浅草橋5F

TEL 03-5833-8017 / FAX 03-5833-8018

URL : <http://www.ecma.jp/>

国土交通省 土木工事標準積算基準書3分冊の全工種をこの1冊に収録!!

平成19年度版 工事歩掛要覧<土木編①>



※画像はイメージです

平成19年7月発刊

経済調査会積算研究会 編
B5判 約1,700頁
定価12,000円(税込)

- 本書は共通編、河川編、道路編の全工種(約300工種)を随所に基準や積算に関する解説、凡例を用いて1冊にまとめております。
- 重要ポイント、諸雑費等はゴシックで強調してあります。

主要目次

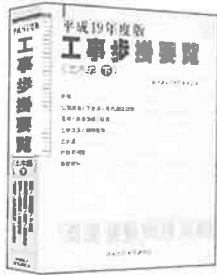
第I編 総則
第II編 共通
①土工 ②共通工 ③擁壁工 ④基礎工
⑤矢板工 ⑥コンクリート工 ⑦仮設工
第III編 河川
①河川海岸工 ②河川維持工 ③砂防工
④地すべり防止工
第IV編 道路
①道路舗装工 ②道路付属施設工
③道路維持修繕工 ④橋梁等維持修繕工
⑤共同溝工 ⑥トンネル工 ⑦道路除雪工
⑧橋梁工
基礎資料編

H19年度の改正

- I 新規制定
①「鋼管・既製コンクリート杭打工
(鋼管ソイルセメント工)」
II 歩掛改正
①法面工(吹付法面とりこわし工)
②深礎工
③鋼管矢板基礎工
④鋼矢板(H型鋼)工、(パイプロハンマ工)
⑤地すべり防止工(集水井工)
⑥路面切削工(切削オーバーレイ工)
⑦鋼橋架設工(鋼床版現場溶接工、
鋼床版Uリブ現場溶接工)
⑧足場工
⑨歩道橋(側道橋)架設工
III その他一部諸雑費化

国土交通省・農林水産省・厚生労働省等の公表歩掛と計算実例!!

平成19年度版 工事歩掛要覧<土木編②>



※画像はイメージです

平成19年8月発刊

経済調査会積算研究会 編
B5判 約1,170頁
定価11,000円(税込)

- 本書は、国土交通省、農林水産省をはじめ各省庁の積算基準に準拠し、利用頻度の高い歩掛を使いやすく編集して掲載しています。

主要目次

<p>総則 公園緑地工事 基礎工事/植栽工事/施設工事 下水道工事 管路施設工事(開削工、推進工法、シールド工) /終末処理設備工事 電気通信設備工事 一般事項/共通設備工 港湾工事 港湾工事積算について/浚渫・土捨工/基礎工 /本体工(ケーソン式)/本体工(ブロック式)/ 本体工(鋼矢板式)/本体工(鋼杭式)/裏込 /裏埋工/上部工/付属工/回航/単価表 漁港漁場関係工事 漁港漁場関係工事の積算について/漁港漁場 関係工事歩掛</p>	<p>空港工事 コンクリート舗装工/アスファルト舗装工/グル ーピング工/柵工/ケーブルダクト工/タイダウ ンリング工/アースリング工 土地改良工事 工事費積算/は場整備工/農地造成工/ト ンネル工/フリューム類掘付工/管水路工 森林整備工事 共通項/治山/林道 上水道工事 管布設工/その他歩掛 計算実例集 基礎資料編</p>
--	--

工事歩掛要覧<土木編 上・下巻>を併用することで、土木工事に必要な公表工種の歩掛が網羅されます。

セット価格20,000円(税込) 上・下巻定価合計より3,000円 お得! ※セット価格は書店でお求めの場合、適用されませんのでご注意ください。

月刊 **積算資料**
実態調査▶建設資材価格・労務単価
建設副産物・各種料金
毎月1日発刊 B5判 約1,000頁
定価3,800円(本体3,619円)

季刊 **土木施工単価**
市場単価▶土木工事・下水道工事
港湾工事・地質調査
年4回(4・7・10・1月) B5判 約520頁
定価3,400円(本体3,238円)

季刊 **建築施工単価**
建築・改修・設備・外構工事費・
ビルメンテナンス料金
年4回(4・7・10・1月) B5判 約730頁
定価4,600円(本体4,381円)

●お申し込み・お問い合わせは●

財団法人 経済調査会 業務部

〒104-0061 東京都中央区銀座5-13-16 東銀座三井ビル
TEL (03) 3542-9291 FAX (03) 3543-1904

Bookけんせつ Plaza
http://book.kensetsu-plaza.com

発刊以来、25年

昭和58年に発刊して以来、今年で25年目。通称「黄本」と呼ばれ、皆様に愛用されています。

国土交通省土木工事積算基準

平成19年度版

国土交通省大臣官房技術調査課 監修
定価 9,030円（税込）

平成19年度は、9工種の歩掛改正および1工種を新規に制定いたしました。

○：改正工種 ★：新規工種



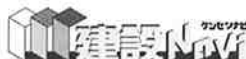
- 法面工<吹付法面とりこわし工>
 - 深礎工
 - 鋼管矢板基礎工
 - 鋼矢板(H形鋼)工<パイプロハンマ工>
 - 地すべり防止工<集水井工>
 - 路面切削工
 - 鋼橋架設工
 - 足場工
 - 歩道橋(側道橋)架設工
 - ★鋼管・既製コンクリート杭打工
- <鋼管ソイルセメント杭工>

月刊 建設物価

■年間購読料/37,200円
(税込・送料サービス)
B5判/約1,000ページ/定価3,799円(税込)

実態調査による総合物価版

土木、建築工事の積算、価格の算定や入札価格の積算に必要な資機材、労務費の調達価格を満載。建設市場の動向に応じ、的確な建設物価情報を提供し、官公庁をはじめ建設業界で、設計・積算の基礎資料として活用されています。



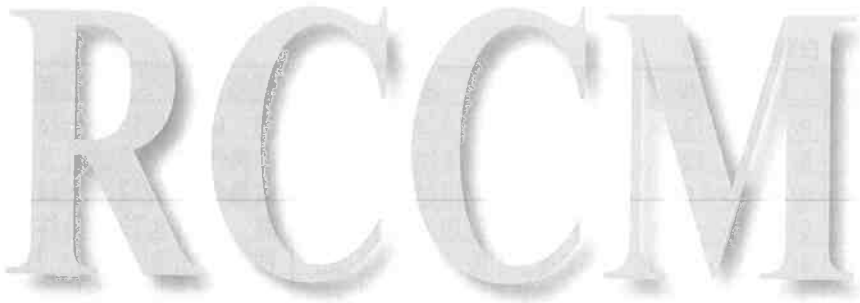
財団法人 建設物価調査会

〒103-0011
東京都中央区日本橋大伝馬町11-8 フジスタービル
☎(03)3663-8761(代) FAX(03)3663-1397

<http://www.kensetu-navi.com/> (毎月の資材市況・出版物・講習会情報を提供中)

Registered Civil Engineering Consulting Manager シビルコンサルティングマネージャ資格試験

試験日：平成19年11月11日（日）



受験申込書の受付期間

平成19年7月2日（月）～ 7月31日（火）

◆郵送の場合は必ず書留郵便とし締切日の消印まで有効としますが、試験会場の都合により定員になり次第、試験会場の振替え若しくは、受付を締め切る場合がありますので、予めご了承下さい。

試験地

札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・福岡・那覇

受験資格

建設事業の計画・調査・立案・助言及び建設工事の設計・管理について次の実務経験を有する者。

大学院（修士／博士課程前期）修了後…… 1年以上
 大学卒業後……… 13年以上
 短大・高専卒業後……… 15年以上
 高校卒業後……… 17年以上

◆上記各項に該当する学歴と同等以上であると認められる学力を有し、かつ各項の実務経験を有する者。

受験科目

①専門技術部門の業務経験、②業務関連法制度及び建設一般、③業務遂行の為の管理技術力、④土木関連技術の共通基礎問題と受験する専門技術部門の専門技術知識

なお、専門技術部門は以下に示す21部門である。

- | | |
|------------------|--------------------|
| (1) 河川、砂防及び海岸・海洋 | (2) 港湾及び空港 |
| (3) 電力土木 | (4) 道路 |
| (5) 鉄道 | (6) 上水道及び工業用水道 |
| (7) 下水道 | (8) 農業土木 |
| (9) 森林土木 | (10) 造園 |
| (11) 都市計画及び地方計画 | (12) 地質 |
| (13) 土質及び基礎 | (14) 鋼構造及びコンクリート |
| (15) トンネル | (16) 施工計画、施工設備及び積算 |
| (17) 建設環境 | (18) 機械 |
| (19) 水産土木 | (20) 電気電子 |
| (21) 廃棄物 | |

受験申込書の販売期間

平成19年6月15日（金）～ 7月20日（金）

受験申込書の請求先

受験申込書は資格制度概要・受験の手引と合わせて事務局並びに協会各支部で販売しています。

本部事務局 〒102-0075 東京都千代田区三番町1番地	KY三番町ビル8F	TEL 03(3221)8855
北海道支部 〒004-8585 札幌市厚別区厚別中央1条5-4-1	森ドールコン	TEL 011(801)1586
東北支部 〒980-0802 仙台市青葉区二日町16-20	二日町ホームプラザビル3F	TEL 022(263)6920
関東支部 〒101-0047 東京都千代田区内神田2-7-10	松梅ビル4F	TEL 03(5297)5951
北陸支部 〒950-0965 新潟市中央区新光町6-1	興和ビル7F	TEL 025(282)3370
中部支部 〒460-0003 名古屋市中区錦3-7-26	森ビル5F	TEL 052(953)6351
近畿支部 〒540-0005 大阪市中央区上町A番12号	上町セイワビル3F	TEL 06(6764)5891
中国支部 〒730-0013 広島市中区八丁堀1-8	エイトビル8F	TEL 082(227)1593
四国支部 〒760-0086 高松市福岡町3-11-22	建設クワイエットビル4F	TEL 087(851)5891
九州支部 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東1-13-9	住友生命博多駅東ビル8F	TEL 092(434)4340

受験申込書の受付場所

Japan Civil Engineering Consultants Association [JCCA]

社団法人 建設コンサルタンツ協会

RCCCM資格制度事務局

〒102-0075 東京都千代田区三番町1番地（KY三番町ビル）
 TEL 03(3221)8855 / FAX 03(3221)5018



本試験の詳細あるいは不明な点は上記に問い合わせ下さい。

最後の関門に
万全の対策を!

1 平成19年度 1級 土木施工管理技術検定 実地試験 受験準備講習会

●開催地・日程(予定)

開催地	日程	開催地	日程	開催地	日程
札幌	9/11(火)・12(水)	松本	9/5(水)・6(木)	岡山	9/12(水)・13(木)
盛岡	9/11(火)・12(水)	新潟①	9/6(木)・7(金)	広島①	9/5(水)・6(木)
秋田	9/5(水)・6(木)	新潟②	9/13(木)・14(金)	広島②	9/12(水)・13(木)
仙台①	9/6(木)・7(金)	静岡	9/10(月)・11(火)	高松	9/12(水)・13(木)
仙台②	9/8(土)・9(日)	名古屋①	9/6(木)・7(金)	福岡①	9/6(木)・7(金)
水戸	9/12(水)・13(木)	名古屋②	9/8(土)・9(日)	福岡②	9/16(日)・17(月)
前橋	9/5(水)・6(木)	名古屋③	9/12(水)・13(木)	長崎	9/13(木)・14(金)
東京①	9/5(水)・6(木)	大阪①	9/6(木)・7(金)	熊本	9/5(水)・6(木)
東京②	9/7(金)・8(土)	大阪②	9/8(土)・9(日)	鹿児島	9/11(火)・12(水)
東京③	9/16(日)・17(月)	大阪③	9/15(土)・16(日)		
横浜	9/13(木)・14(金)	神戸	9/11(火)・12(水)		

●受講料 18,000円(税込み)

[※1級実地再受講または平成18・19年度1級学科講習会申込者は15,000円]

- テキスト代 3,260円(テキストのみの販売もいたします。)
- 受講申込みの方には、「施工経験記述」の添削指導を行います。(添削料4,000円)
- 各科目の演習問題(当研究所オリジナル)と新傾向を網羅した資料で力がつきます。
- ★この講習会のほか、通信形式で施工経験記述の添削指導(2回)を行う講座もあります。

詳しくは...

国土交通省所管 財団法人 地域開発研究所

土木施工管理技術研究会

〒102-0083 東京都千代田区麹町 6-6 麹町東急ビル 6F

TEL03-5226-0171 FAX 03-5226-0165

★インターネットからも申し込めます! <http://www.chiiki-net.com>

- 試験は・・・10月7日(日)に実施されます。
- 平成19年度学科試験の合格発表は・・・8月17日(金)です。
- 学科試験合格者の受験申込期間は・・・8月17日(金)～8月31日(金)です。
- 指定試験機関 財団法人 全国建設研修センター TEL 03-3581-0138 (土木試験課)

☆☆当研究所では、1級建築施工管理技術検定実地試験の受験準備講習会も実施します。☆☆

★9月中・下旬 ★全国13都市で開催 ★2日間・受講料19,000円 ★テキスト3,260円

建設業・現場原価管理ソフト+業務日報ソフト

おまかせ！JCM「原価まもる君」

●現場の原価管理で・・・

- ・難しいことが出来なくていいから、簡単な原価管理ソフトはないだろうか？
 - ・原価管理なんて表計算ソフトで十分なんだけど集計処理や作表等が面倒だ！
- ・・・と思ったことはありませんか！！

JCM「原価まもる君」は、そんな思いを一挙に解決するソフトです！

★★ ソフトの特徴 ★★

- 現場所長が長年の実績をもとに考えた原価管理をソフト化
- シンプル設計なので操作が簡単、入力がらくらく
- 毎日の業務に欠かせない作業日報ソフト付き

**まずは！体験版（1ヶ月）を
ダウンロードしてください
購入するのは納得してからで結構です**



販売価格(税込)

一般用販売：31,500円

技士会会員：27,300円

体験版、購入は下記のホームページから

販売：JCM 社団法人全国土木施工管理技士会連合会

<http://www.ejcm.or.jp/>

JCM
MONTHLY REPORT

編集・発行

JCMマンスリーレポート

Vol. 16 No. 4 2007.7

平成19年7月1日 発行

(隔月1回1日発行)

社団法人 全国土木施工管理技士会連合会

The Japan Federation of Construction

Managing Engineers Associations (JCM)

〒102-0074 東京都千代田区九段南4丁目8番30号アルス市ヶ谷3階

TEL. 03-3262-7421 (代表) FAX. 03-3262-7424

<http://www.ejcm.or.jp>

印刷

第一資料印刷株式会社

〒162-0818 東京都新宿区染地町8-7

TEL. 03-3267-8211 (代表)

技士会の

監理技術者講習

建設業全28業種の監理技術者が対象です



がんばってるんだ
資格者のひと

- 技士会の継続学習制度 (CPDS) にお申し込みいただくと自動的に学習履歴として加点されます。
- インターネット (<http://www.ejcm.or.jp>) 申込なら顔写真もオンライン送信できます。

インターネット申込受講料 **10,500円**

紙申込の受講料**10,800円**

(テキスト代・講習修了証交付手数料・消費税含む)

県	講習地	実施日	県	講習地	実施日	県	講習地	実施日
北海道	札幌	H19・11月2日(金)	福井		H19・11月8日(木)	愛媛	松山	H19・9月27日(木)
	帯広	H19・7月6日(金)	鳥取	倉吉	H20・2月19日(火)			H20・1月18日(金)
	青森	H19・12月1日(土)		広島	H19・7月11日(水)	高知	H19・7月7日(土)	
東京		H19・8月4日(土)		H19・11月7日(水)	H19・9月15日(土)			
		H20・1月19日(土)		H20・3月5日(水)	H19・12月15日(土)			
山梨	甲府	H19・7月4日(木)	山口		H19・7月25日(水)	福岡	H19・9月26日(水)	
		H19・9月27日(水)	徳島		H19・11月17日(土)		H20・1月29日(火)	
		H20・1月30日(水)	香川	高松	H19・7月21日(土)	宮崎	H19・8月22日(水)	
新潟				H19・10月27日(土)	H19・11月28日(水)			
富山		H19・10月31日(水)			H20・1月26日(土)	H20・2月9日(土)		

社団法人 **全国土木施工管理技士会連合会**

The Japan Federation of Construction Managing Engineers Associations (JCM)

〒102-0074 東京都千代田区九段南4丁目8番30号

アルス市ヶ谷3階

電話03-3262-7421/FAX03-3262-7424

<http://www.ejcm.or.jp>

定価250円 (税・送料込み)

(会員の購読料は会費の中に含む)